

# 第60回日本神経学会学術大会総括 －全体アンケートを中心に－

## はじめに

第60回日本神経学会学術大会は、大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルを会場として、5月22日（水）から25日（土）まで4日間の日程で行われた。このほか、市民向け企画としておおさか脳神経内科ウィーク（5月22日（水）から25日（土）、大阪大学中之島センター）、市民公開講座（5月26日（日）グランフロント コングレコンベンションセンター）も実施した。学会本体では、約8000名を越える参加者となり、盛会のうちに閉幕した。本稿では、大会終了後に実施された全体アンケートの結果を中心に第60回大会について総括したい。

## I. アンケート概要

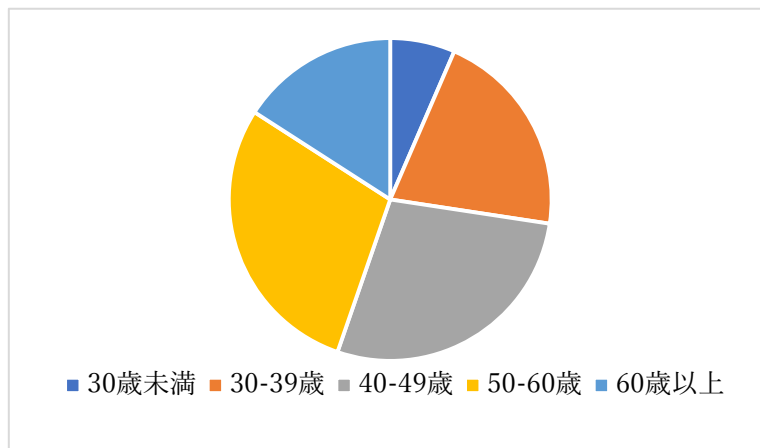
昨年同様、回収率の向上を目標として、大会終了後1週間、GoogleシステムのWeb入力方式で実施した。本システムの利点は、大会終了直後に行えること、紙媒体から入力・集計の必要がないことである。デメリットは、同一人物による複数回入力はチェック出来ないことが挙げられる。この問題は会員番号の入力により避けられるが、匿名性の担保が問題となる。また、アドレスを得ていない非会員当日参加者はアンケートを送付できていない。また実際には参加しなかった会員が「参加した」とする虚偽の申告は排除できない。アンケート質問項目は別添資料に示した。

アンケート回答総数                      1318

性別	男性	940	女性	378
国籍	日本	1285	海外	33
会員		1112	非会員	206

### 年齢構成

30歳未満 6.5%    30-39歳 20.9%    40-49歳 27.9%    50-60歳 28.8%    60歳以上 15.9%



### 医師の所属先

病院勤務 53.6%    大学 35.2%    開業 5.9%    研究機関 3.0%    その他 2.2%  
企業、健診センター、行政機関、有床診療所、老人保健施設、フリーランス、所属なし、

転職中など

職種内訳ごとの実数

医師以外の職種（研修医，学生を含む）では、会員 64 名，非会員 180 名からの回答があり，内訳は以下の通りである。

医師	1084	臨床検査技師	15
研究者	41	管理栄養士	4
後期研修医	10	臨床心理士	4
初期研修医	6	介護福祉士	3
学生	3	MSW	2
薬剤師	10	認定遺伝カウンセラー	1
看護師	22	相談支援専門員	1
理学・作業療法士	33	患者団体	1
言語聴覚士	26		
Medical affairs	2	企業開発部門	4
CRA	3	企業学術部門	3
医薬情報担当者・MR	6	企業所属・会社員	11
企業マーケティング	4	企業研究者	3

## II. 実際の参加日と日程について

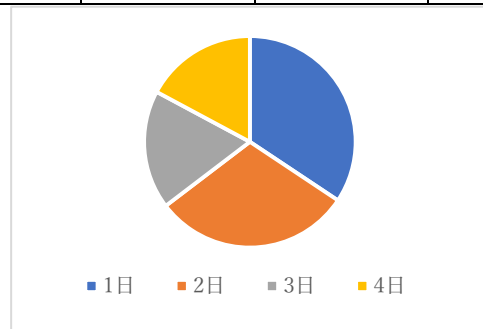
第60回大会は、大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルにて、5月22日（水）から25日（土）までの4日間の日程で行われた。このほか、市民向け企画としておおさか脳神経内科ウイーク（5月22日（水）から25日（土）、大阪大学中之島センター）、市民公開講座（5月26日（日）グランフロント コングレコンベンションセンター）も実施した。

以下、参加者アンケートを中心に記載する。

### 1. 参加日数

参加日数は1日のみが最も多く、次いで2日、3日、4日であり、4日間すべて参加した人が最も少なかった。

1日のみ	2日間	3日間	4日間
450(34%)	399(31%)	240(18%)	229(17%)



### 2. 1日のみ参加者における参加日

1日のみ参加では、初日（水）と最終日（土）に多い。

1日のみ参加者について参加日を検討した。上記結果の理由を自由記載意見を参考に考えてみると、生涯教育セミナーにあわせて日程を決めた、勤務の都合で土曜日しか参加できなかった、などの理由が推測された。

5月22日(水)	5月23日(木)	5月24日(金)	5月25日(土)
107	90	77	176

### 3. 医師会員の参加日数（所属別）

一般病院所属・開業医では1日参加が最も多く、特に開業医の62%が1日のみ参加。

大学所属医師は、比較的長期参加の傾向がみられたが、それでも2日以内が60%を占めた。

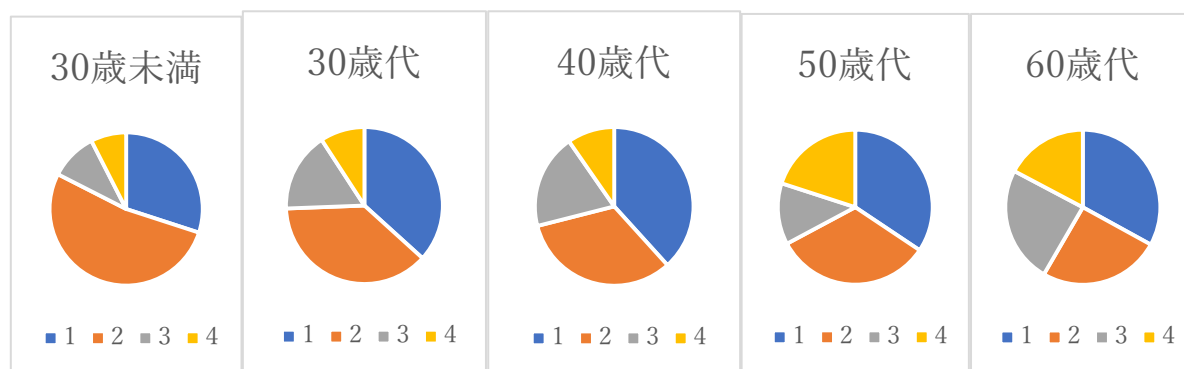
	1日のみ	2日間	3日間	4日間
一般病院	219(38%)	201(35%)	99(17%)	55(10%)
大学	98(27%)	121(33%)	66(18%)	84(23%)
開業	39(62%)	17(27%)	7(11%)	0(0%)

### 4. 会員の年齢別での参加日数

いずれの年代も、1日のみ、もしくは2日間の参加が多く、40歳代、60歳以上では1日のみ参加が最多であった。

30歳代でも1日のみと2日間で拮抗している。高年齢層ほど長期参加の傾向はあるものの、どの年代層においても、1-2日の短期間参加が多い。

	1日のみ	2日間	3日間	4日間
30歳未満	12(30%)	21(53%)	4(10%)	3(8%)
30歳代	76(37%)	78(38%)	34(16%)	19(9%)
40歳代	111(38%)	95(33%)	56(19%)	28(10%)
50歳代	110(34%)	105(33%)	41(13%)	64(20%)
60歳代	65(33%)	50(25%)	48(24%)	34(17%)

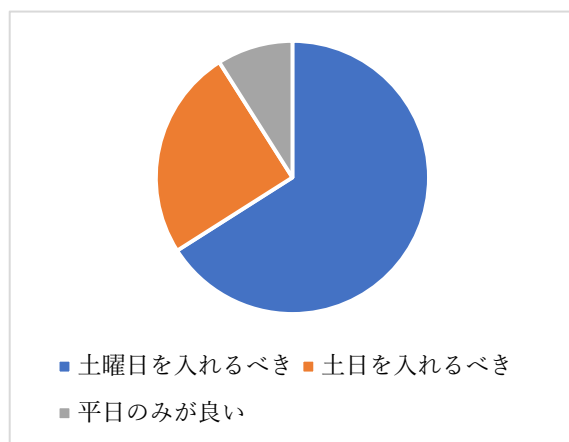


## 5. 希望する曜日

現状の「土曜日を含む日程」が66%で最も多かった。

一方で、「土日を入れるべき」という意見は25%であった。自由意見記載では、開業、一般病院勤務医参加者の意見として、参加しやすい日程として日曜日を希望する傾向が伺えた。

土曜日を入れるべき	土日を入れるべき	平日のみが良い
66%	25%	9%

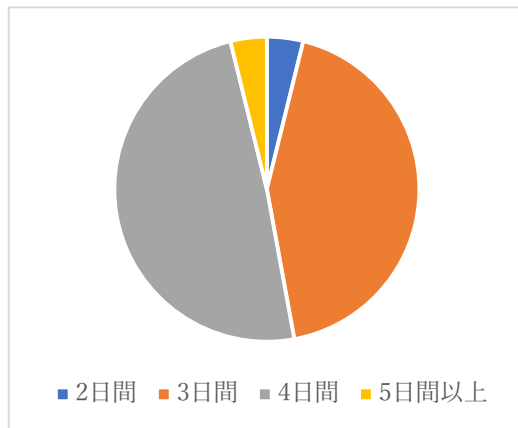


## 6. 開催期間

現状の4日間を支持する意見が51%で最も多かった。

4日間以外の意見では、3日間と言う意見も45%であり、比較的拮抗していた。2日間、5日以上という意見は少数であった。

2日間	3日間	4日間	5日間以上
4%	45%	51%	4%

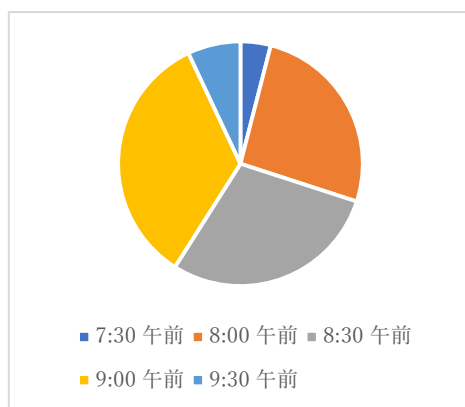


## 7. 開始時間

午前8時から9時の時間帯を支持する意見が89%と多数を占めた。

概ね現行の開始時間は妥当と考えられた。60回大会では、基本的に午前8時開始としたが、教育コースの一部（木、金）は午前7時半開始となった。これについては早すぎるとの自由意見も見られた。

7:30 AM	8:00 AM	8:30 AM	9:00 AM	9:30 AM
4%	26%	29%	34%	7%



## Ⅲ.施設・運営について

第60回大会の会場は、大阪国際会議場および隣接するリーガロイヤルホテルであったが、教育コースの一部を除き、ほぼすべてのセッションは大阪国際会議場で行われた。参加者にとって関係するセッションが、ひとつの建物内で完結する点は利点であったが、複数の階が会場となり、上下方向への移動に不便があったことが推測される。とくにセッションとセッションの間には、多数の参加者が、エスカレーターおよびエレベーターに集中し、一部で、次のセッションへの移動が間に合わなかった、などの問題が生じた。このほか、ポスター会場の音響の問題、休憩場所の少なさなどは、考慮すべき問題点である。運営面では、充実したホームページ、スマホを利用した抄録アプリ、学会事務局からのメールによる丁寧な案内

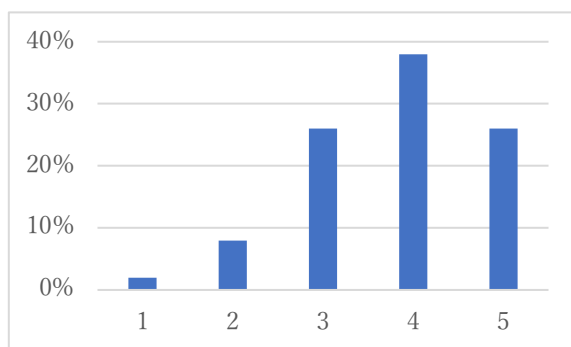
は、おおむね好評であった。また、一般口演セッション、ポスターセッション、いずれでも、プレゼンテーション、ディスカッションの方式などの運営面においては、おおむね支持されていたように思われる。以下、各アンケート項目に沿って、記載する。

1. 設問1. 会場の広さは適切でしたか？

64%が肯定的な回答であった。

会場の広さは概ね支持されていたと考えられる。自由意見の中には、「エレベーターによる上下の移動が大変であった。」との意見が複数あった。

1	2	3	4	5
全くよくない	あまりよくない	どちらでもない	まあまあよい	とてもよい
2%	8%	26%	38%	26%

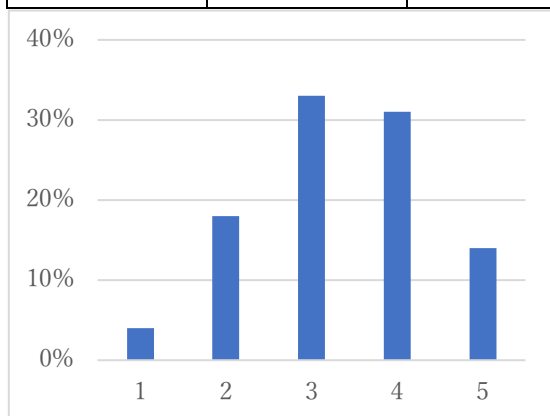


2. 設問2. 会場内の案内はわかりやすかったですか？

45%が肯定的な回答であったが、否定的な回答が22%あった。

自由意見では、トイレの場所がわかりにくいなどの意見がみられた。

1	2	3	4	5
全くよくない	あまりよくない	どちらでもない	まあまあよい	とてもよい
4%	18%	33%	31%	14%

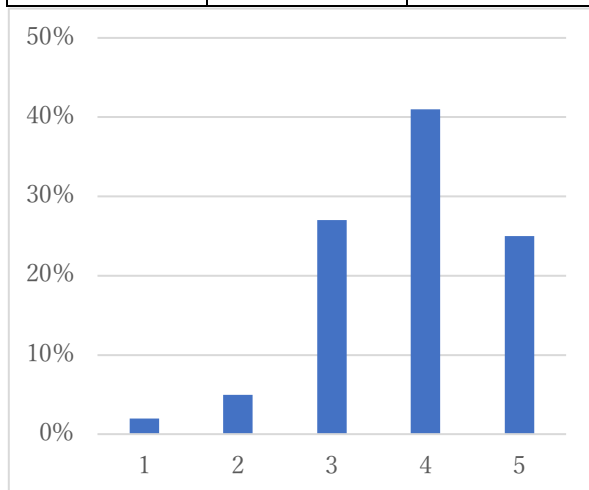


3. 設問3. ポケットプログラム、抄録集の内容は役に立ちましたか？

ポケットプログラム、抄録集については66%が肯定的な意見で、否定的意見は7%のみであった。

ポケットプログラム、抄録集については、概ね有効に活用頂いたものと考えられる。

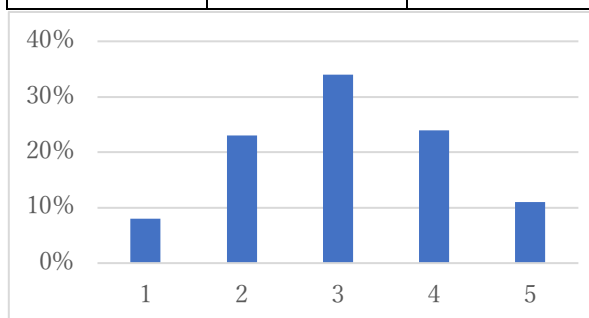
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	5%	27%	41%	25%



4. 設問4. 会場設備（ドリンク、休憩場所、託児所など）は満足できましたか？  
肯定的意見 35%、否定的意見 31%と拮抗していた。

大会として準備したドリンクが早々になくなり、企業展示で提供されるものを利用したとの意見があった。その他の自由意見では休憩場所が少ないとの指摘が多く、託児所も曜日によっては予約が取れないとの不満があった。休憩スペースは、ポスター会場内の両端に設置したが、ゆとりあるポスターセッションのスペースを確保したため、休憩スペースは逆に狭くなったものと考えられる。ポスター会場に関する不満は、以下の設問でも指摘されており、今後の大会で考慮すべき課題と考えられた。

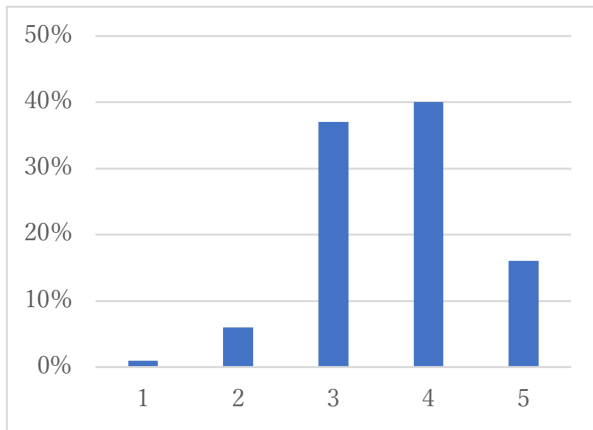
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
8%	23%	34%	24%	11%



5. 設問5. 学術大会ホームページは充実していましたか？  
56%が肯定的意見で、否定的意見は7%と少なかった。

学会日程、セミナーの案内などは、ホームページが最も重要な情報源となるので、今後ともホームページ記載内容の充実や最新情報のアップデートなど、こまめなメンテナンスは重要と考える。

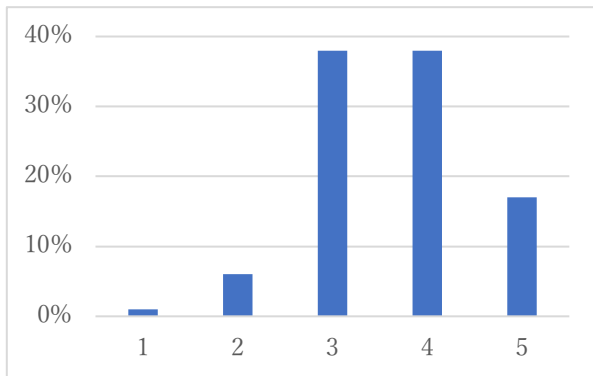
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	6%	37%	40%	16%



6. 設問 6. 学術大会関連のご案内のメールは充実していましたか？  
55%が肯定的意見で、否定的意見は7%と少なかった。

学会事務局のご尽力により、演題採否通知のほか、各種案内を頻回に行ったことは、会員にも評価されている。今後も、ホームページ同様、学会員へのメールは情報の周知徹底に重要であると考えられた。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	6%	38%	38%	17%

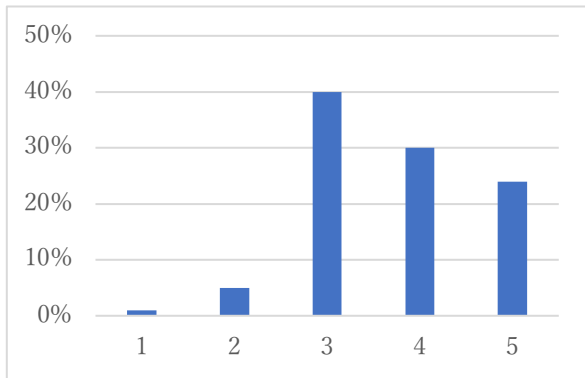


7. 設問 7. 電子抄録アプリは充実していましたか？  
54%が肯定的意見で、否定的意見は6%と少なかった。

スマートフォン利用による抄録アプリは、今後ますます活用の機会は増加すると考えられるため、さらに充実すべきであると考えられた。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	5%	40%	30%	24%

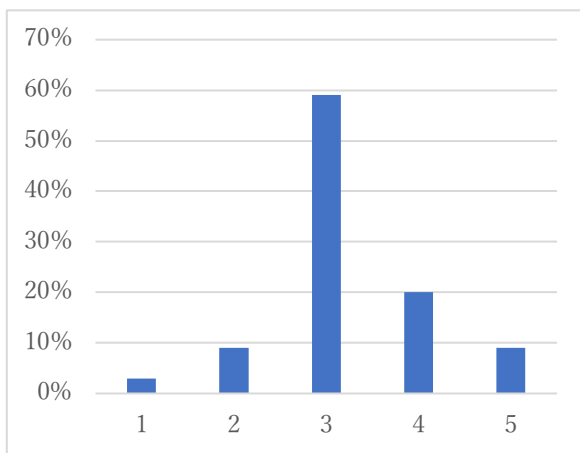




8. 設問 8.事前に教育関連施設に、学会参加へのご協力をお願いをお出ししました。このお願いはお役に立ちましたか？  
 どちらでもないと言う回答が 59%と最多であった。

どちらでもないとの回答が最多となった。現実問題として教育関連施設への協力要請の内容について、十分に理解できない回答者も多かったのではないかと考える。

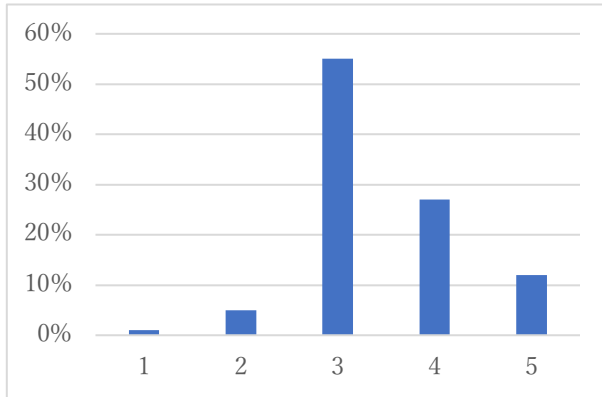
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
3%	9%	59%	20%	9%



9. 設問 9.抄録の締め切り日程は適切でしたか？  
 39%の肯定的意見と 55%の「どちらでもない」との回答であった。

どちらでもないとの回答が最多ではあったが、抄録締め切り時期は、おおむね、現在の時期（前年 11 月下旬）で定着しているものとする。

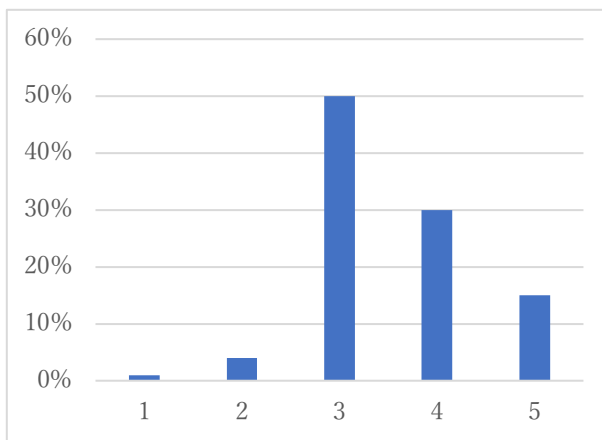
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	5%	55%	27%	12%



10. 設問 10.発表日程のご連絡は適切でしたか？  
45%の肯定的意見と「どちらでもない」との回答であった。

どちらでもないとの回答が最多ではあったが、発表日程の連絡時期は、おおむね、会員の中でも現在の時期で定着しているものとする。

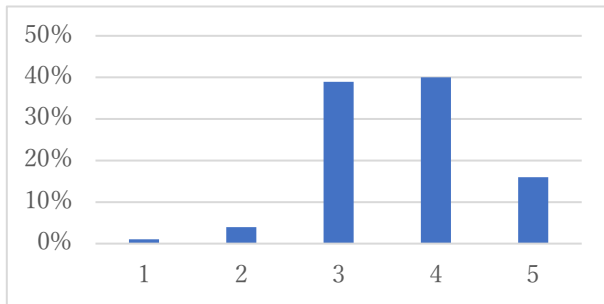
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	4%	50%	30%	15%



11. 設問 20. 一般演題口演の発表時間（10分＋討論5分）は適切でしたか？  
56%が肯定的意見で否定的意見は5%であった。

一般演題口演の発表・討論など運営に関する部分については、現行の方式で受け入れられていると考えられた。

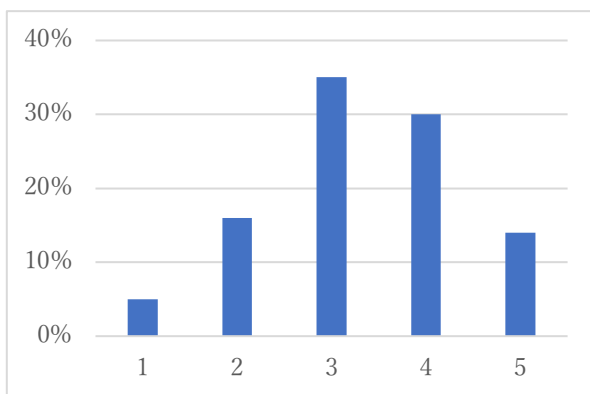
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	4%	39%	40%	16%



12. 設問 22. ポスター会場の環境（音響・広さなど）は適切でしたか？  
肯定的意見 44%に対し、否定的意見は 21%ではあったが、比較的、不満が多かった。

自由記載でも、「音声が聞き取りにくい」との意見が多数みられた。今回はマイクを使用しなかったが、マイクを使用すると複数のセッションの音声が入り混じり、余計に聞き取りにくい可能性もある。ポスター会場は最も多くの参加者が集うスペースであり、その環境整備は重要な検討事項である。本学会の規模（参加者数、演題数）を考えると、ポスター会場に十分なスペースを確保することが、重要と考えられた。

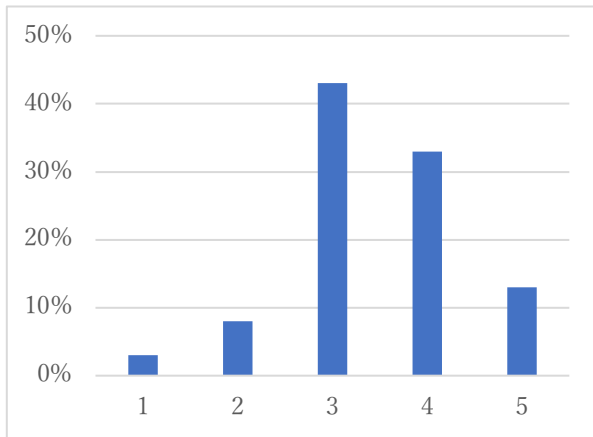
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
5%	16%	35%	30%	14%



13. 設問 23. ポスター演題の発表時間 5 分、討論時間 1 分とし、総合討論を 40～45 分程度設けました。これは適切でしたか？  
46%が肯定的意見で否定的意見は 11%であった。

前設問のポスター会場の環境に関する質問に比べると、肯定的意見が多かった。ポスター発表の運営形式についてはおおむね受け入れられていると考える。

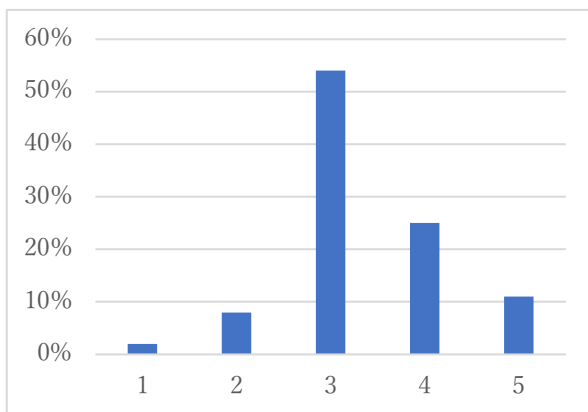
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
3%	8%	43%	33%	13%



14. 設問 28. 運営に際し、障がい者対応はしっかりできていたと思われましたか？  
36%が肯定的意見で否定的意見は 10%であった。

おおむね障がい者対応は支持されているが、どちらでもないが 54%であり、当事者以外には意識されにくい面があったのかもしれない。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	8%	54%	25%	11%



#### IV. プログラム構成について

大会プログラムは、①学術シンポジウム、②教育企画、③一般演題（口演，ポスター）、④共催セミナー（ランチョンセミナーなど）、⑤特別企画，その他（会長口演，プレナリーセッションなどを含む）に大別される。本項では、アンケート項目に準じて、主に①，②について述べる。

まず、プログラム構成の決定方法は、これまでの学術大会と同様に、学術シンポジウムと教育企画を分離する方式とした。学術プログラム選定にあたって、各分野の第一人者から年次学術委員を選出したが、可能な限り、前年度と重ならないように、また、若手、女性の登用も企図した。年次学術委員には学術シンポジウムの企画を依頼し、さらに公募シンポジウムからの採用について、ご意見を頂いた。その上で、大会長校の意見や年次学術委員会での議論を経て、シンポジウムとして採用する企画を決定した。学術企画の区分は、おおむね札幌大会のものを踏襲したが、末梢神経疾患，免疫性疾患など、一部に大会長校の特色を取り入れた。一般演題の領域区分も札幌大会を踏襲したが、学術内容のアップデートを意識して、適宜，新たな内容を追加した。査読については、年次学術委員のほか、当該領域を専門とする会員に査読委員を依頼した。メディカルスタッフポスターセッションにおいても、査読を行い優秀演題候補も選出頂いた。教育企画は教育

委員会と大会長校（前回，今回，次回の大会長，事務局長）から組織される学術大会教育プログラムワーキンググループで検討、立案した。比較的大きめの会場で実施するレクチャーマラソンと、少人数，双方向性で行う教育コースの2種類とした。教育コースはオーガナイザー主導のもと、複数の講師で構成され、事前登録制とした。

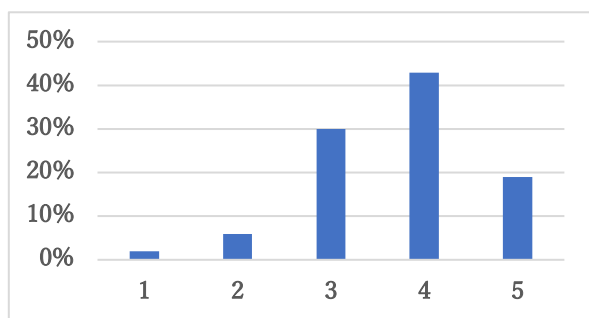
以下，アンケート結果を参考にしながら、全般的な質問、シンポジウム、教育企画の順にプログラム構成に関して報告する。

#### IV-1. プログラム構成全般について

1. 設問11. 「プログラム構成は満足頂けましたか？」について  
62%が肯定的な回答であり、否定的意見の回答は8%であった。

全般的なプログラム構成については概ね肯定的な意見を頂いた。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	6%	30%	43%	19%



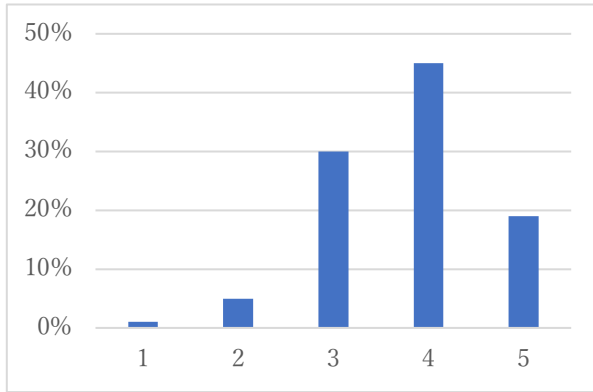
#### IV-2. 学術シンポジウムについて

1. 設問12. シンポジウムのテーマ選びはいかがでしたか？（臨床・基礎のバランス、新規性など）

64%の回答者が肯定的な意見であった。

否定的回答は6%であり、学術シンポジウムに関しては肯定的な意見が多かった。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	5%	30%	45%	19%

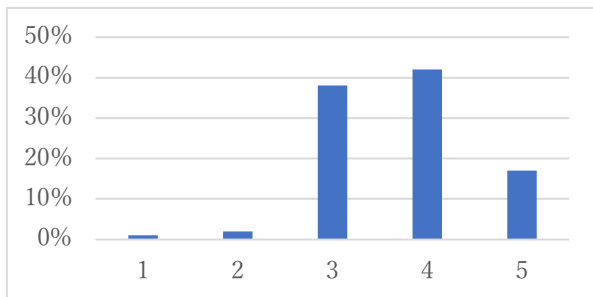


2. 設問13. 一般演題からもシンポジウムに採択した演題があります。  
これは適切でしたか？

59%から良いと言う回答を得た。

一般演題からシンポジウムに採択することについては、おおむね支持は得られていると考える。

1	2	3	4	5
全くよくない	あまりよくない	どちらでもない	まあまあよい	とてもよい
1%	2%	38%	42%	17%



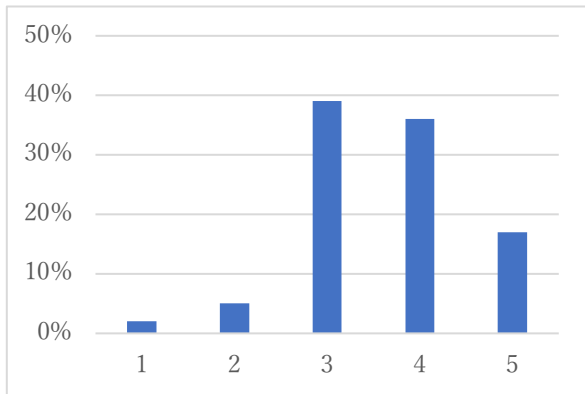
### IV-3. 教育企画について

1. 設問15 「教育企画」をレクチャー馬拉ソン、教育コースにしました。これについて  
どう思われましたか？

どちらでもないという回答が39%で最多であったが、全体としては、53%から肯定的な回答を得た。

肯定的回答が多く、教育企画をレクチャー馬拉ソンと教育コースに分けて実施する方式については、おおむね支持は得られていると思われる。

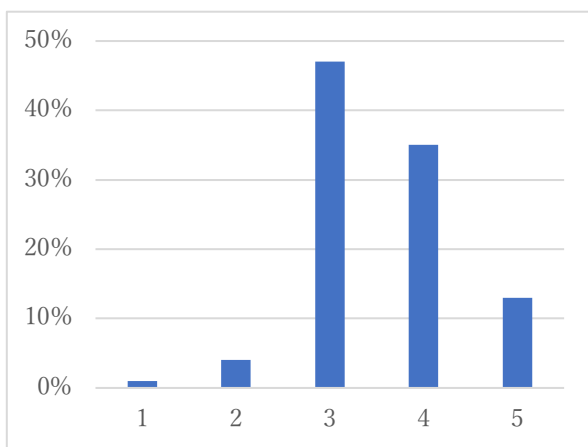
1	2	3	4	5
全くよくない	あまりよくない	どちらでもない	まあまあよい	とてもよい
2%	5%	39%	36%	17%



2. 設問16 レクチャー馬拉ソンの内容についてはどう思われましたか？  
肯定的意見が、48%であった。

カテゴリー別ではどちらでもないという回答が47%と多かったものの、概ね内容については支持されているものと考えられた。

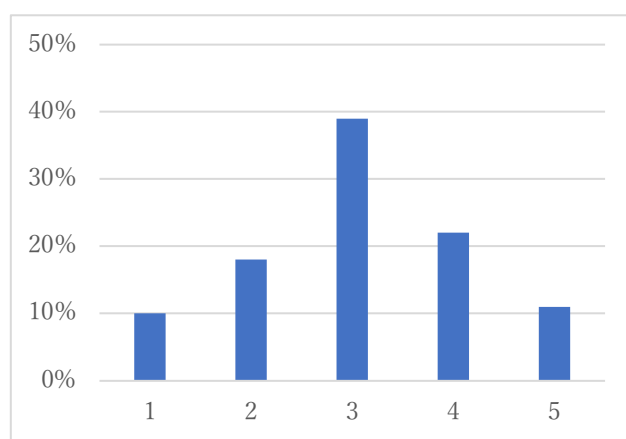
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	4%	47%	35%	13%



3. 設問17. 教育コースは少人数、事前登録制ですが、これについてどう思われましたか？  
33%が肯定的な回答であったのに対し、28%が否定的な回答であった。

比較的、否定的意見が多かった。自由意見でも、少人数・事前登録制に関する不満（希望するコースを選択できなかった、空席があるのに入れなかったなど）の声があり、運営について見直しの余地がある  
と考える。また、比較的大人数を対象とした教育プログラムに対する需要が多いことが推察された。

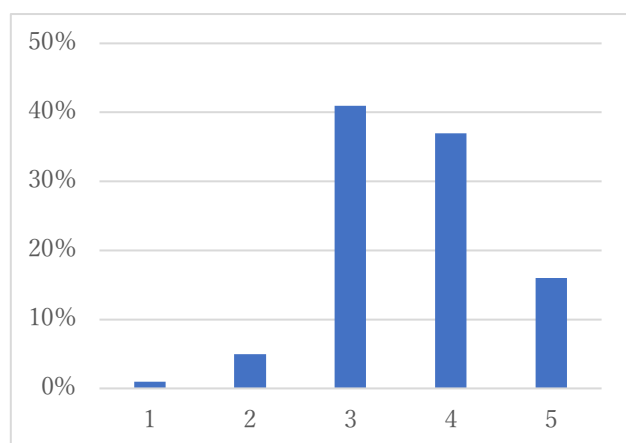
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
10%	18%	39%	22%	11%



4. 設問 18 教育コースのテーマについてはどう思われましたか？  
テーマについては 53%が肯定的な回答で、否定的回答は 6%であった。

テーマについては肯定的意見が多く、設問 17 の回答と併せて考えると、教育コースのテーマ、内容に  
関する不満と言うよりも運営方法に関する不満が大きいものと推察する。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
1%	5%	41%	37%	16%



## V.英語セッション・国際化について

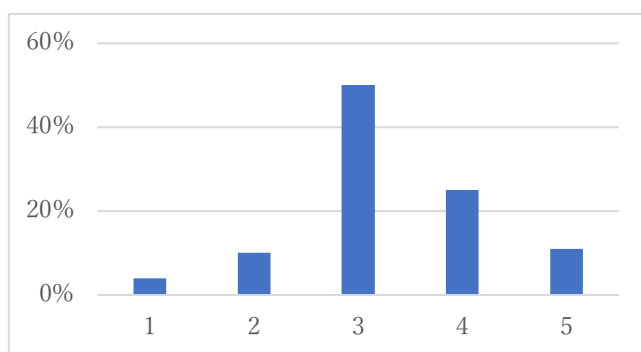


1. 設問19. 英語の教育セッション（International Education Course）についてはどう思われましたか？

どちらでもないとの回答が50%で最多ではあったが、36%は肯定的な意見であった。

海外参加者のために教育的機会を提供するという点で一定の意義はあるものとする。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
4%	10%	50%	25%	11%

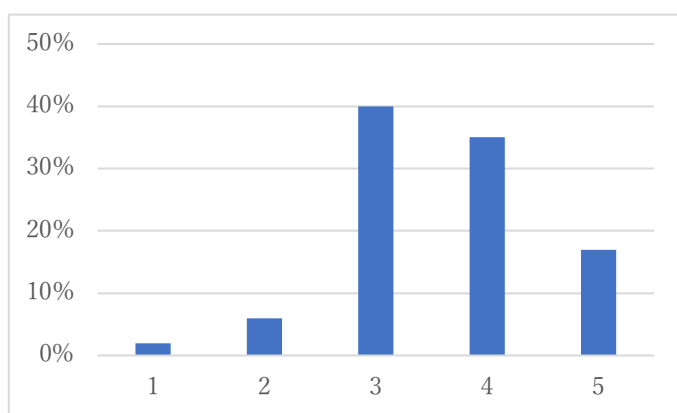


2. 設問21. 一般演題の英語セッションを活発化させるためにコメンテーターを配置しました。これは有用でしたか？

コメンテーターの配置については、52%が肯定的意見であった。

英語セッションのディスカッション活性化には、その必要性が認識される一方で、自由意見の中には、英語セッション座長、コメンテーターの英語力不足を指摘するものがあった。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	6%	40%	35%	17%

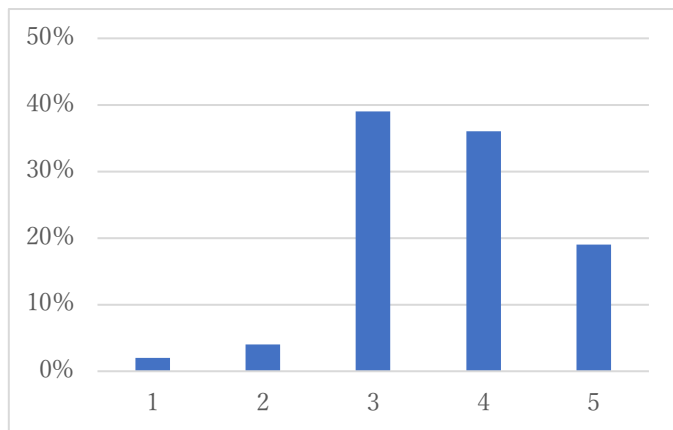


3. 設問26. 一般演題の海外参加者と、国内参加者を同じセッションで扱っています。これは適切ですか？

55%から肯定的意見が得られた。

国際化を目指す上で、同じセッションで扱う方が、海外参加者と国内参加者の情報共有の場としても有用性があると思われる。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	4%	39%	36%	19%

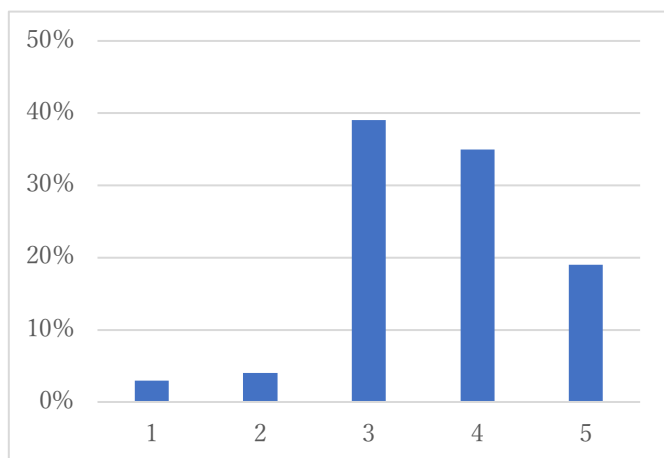


4. 設問27. 国際化のために海外からのトラベルグラントを設けています。これは有用と思われませんか？

54%が肯定的意見であった。

海外からのトラベルグラントは、海外からの参加者を増やし、交流促進にも必要な措置と考えられる。このことについては、おおむね参加者の支持は得られていると考える。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
3%	4%	39%	35%	19%



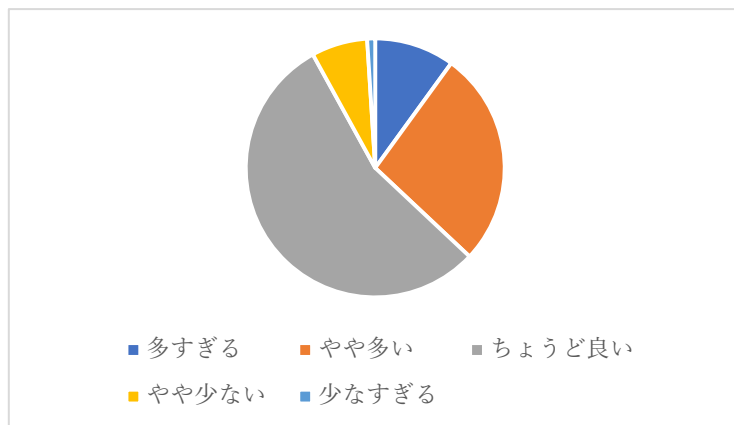
5. 設問30. 英語のセッション数について、どう思われましたか？

ちょうど良いとする意見が55%であった。

現状のセッション数で、おおむね受け入れられているが、多すぎるとの意見も37%存在する。自由意見の中には、英語力の問題から、英語セッションが日本人参加者にとって、かえって、議論の質の低下を

招いているという趣旨のものがあつた。今後の国際化推進に向けて、数だけではなく、質の向上も必要であると考えられた。

多すぎる	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少なすぎる
10%	27%	55%	7%	1%



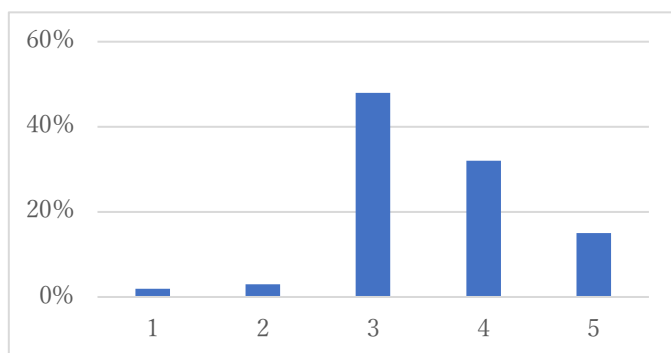
## VI. 学生・初期研修医関連について

### 1. 設問24. 医学生・初期研修医セッションは有用と思われましたか？

どちらでもないとの回答が48%で最も多かったが、37%が肯定的意見で、否定的意見は5%であった。

若手の参加を積極的に促す意味でも、これらのセッションの存在は、参加者からおおむね受け入れられていると考える。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	3%	48%	32%	15%

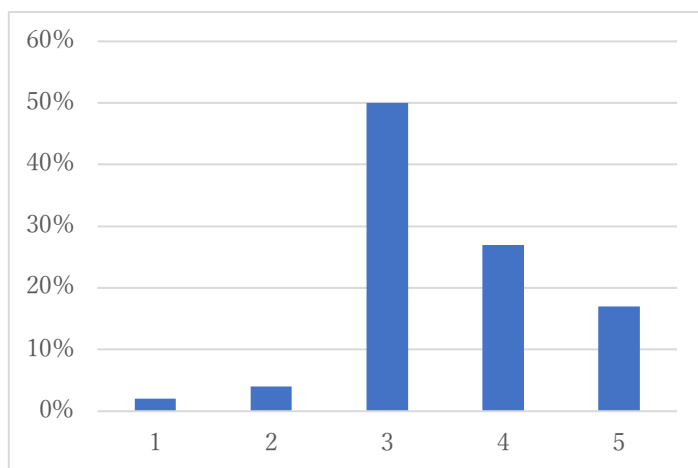


### 2. 設問25. 医学生・初期研修医向けにトラベルグラントを設けました。これは有用でしたか？

どちらでもないとの回答が50%で最も多かったが、44%が肯定的意見で、否定的意見は6%であった。

新規の神経学会会員を獲得するためにも、トラベルグラントのような方法は参加者から概ね支持されていると考えられた。

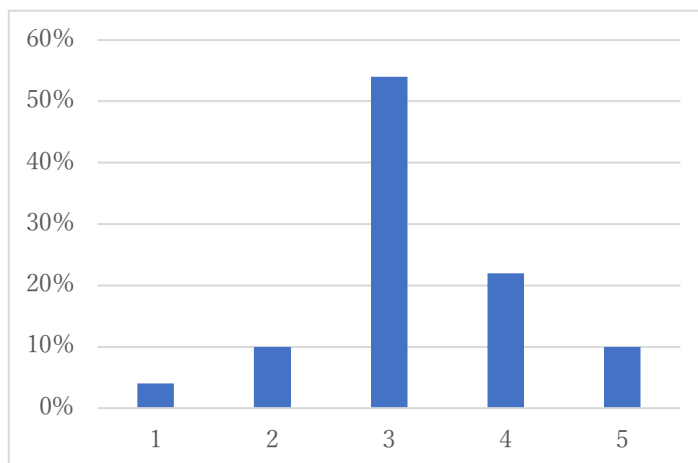
1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
2%	4%	50%	27%	17%



3. 設問29. 本大会のレジデントクリニカルトーナメントは、土曜日の午後（閉会式の前）に設けました。この試みについて、どう思われましたか？  
肯定的意見が 32%であり、概ね支持された。

レジデントクリニカルトーナメントは、参加施設も徐々に増加しており（今回は過去最高の 39 チームが参加した）、盛り上がるイベントである。59 回大会までは、レジデントクリニカルトーナメントは、夜の時間帯に行われていたが、今回は閉会式直前の時間帯に実施した。これについては、肯定的意見が 32%であり概ね支持されたと考えられる。一方で否定的意見も 14%あり、開催時間についてはさらに検討の余地があるかもしれない。

1 全くよくない	2 あまりよくない	3 どちらでもない	4 まあまあよい	5 とてもよい
4%	10%	54%	22%	10%



## VII.市民公開講座、脳神経内科ウイークについて

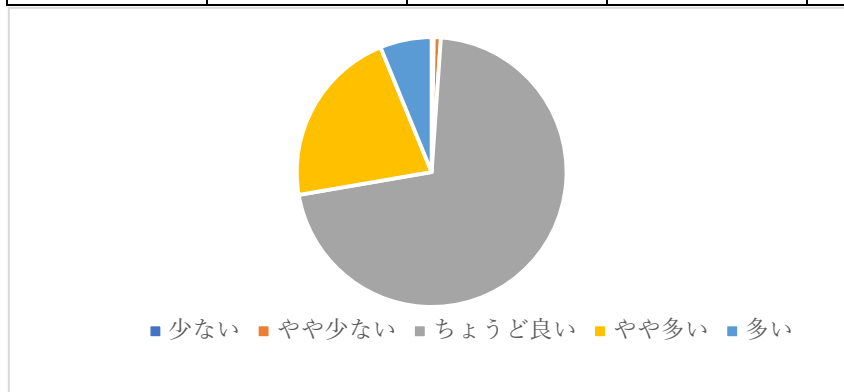
第 60 回大会では札幌大会と同様に会期中の平日午後 2 時間枠で開催する“おおさか脳神経内科ウイーク”と、学術大会終了後の日曜日に開催する市民公開講座”が実施された。脳神経内科ウイークは、各日 150 名程度の座席を準備したが、いずれの日も 80 名-130 名程度の参加者があり、盛況であった。市民公開講座についても 260 名程度の参加者があった。

1. 学会参加者アンケートから 設問 34. 今回は会期中の 4 日間と会期後の 1 日、市民公開講座を開催しましたが、いかがですか？

71%がちょうど良いとの回答であった。

学会参加者に市民向け企画について質問した結果である。71%がちょうど良いとの回答であったが、28%が、やや多い、多いとの回答であった。少ない、やや少ないとの回答は極めて少数であった。学会員には、市民公開講座、脳神経内科ウイークについては、概ね受け入れられている。

少ない	やや少ない	ちょうど良い	やや多い	多い
3(0.0%)	10(0.1%)	840(71%)	254(22%)	73(6%)



2. 市民向け企画参加者アンケートから

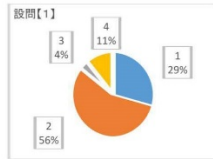
市民向け企画の参加者を対象にしたアンケート調査を別添資料 2 に示す。おおさか脳神経内科ウイーク”については 320 名から、市民公開講座については 223 名から回答を得た。参加者の年齢構成は、重症筋無力症に関する企画（5 月 24 日）を除き、70 歳以上が最も多く、ついで 60 歳代、50 歳代の参加者が多かった。重症筋無力症に関する企画では、60 歳以上が最も多く、次いで 70 歳代であった。疾患による特徴が現れたものとする。参加者の居住地は 60-70%が大阪市外であり、大阪市内の参加者よりも多かった。会場の交通の便が良く、市外からも参加しやすかったものとする。講演内容についても評価が高く、参加者の理解度も良好であった。第 60 回大会では市民公開講座の広報として、新聞広告・記事（朝日新聞、読売新聞、産経新聞）、病院、保健所などのポスター掲示、学会ホームページ・Facebook などのインターネット、などを利用した。そのなかでは、新聞広告・記事による広報が有効であった。健康に関する話題については高齢の方が興味を持つケースが多く、インターネットなどの電子媒体以上に、新聞広告・記事の有用性が示唆された。今回は、広報委員会のご好意により、広告費を追加頂いた。また、脳神経内科ウイークでは企業の協賛も受け、結果的に広報にも協力いただくこととなった。この結果から鑑み、次回大会においても新聞広告を出稿することを考慮すべきであるが、広告費の財源について検討を要する。

# 1. おおさか脳神経内科ウイーク

## 5月22日（水）テーマ パーキンソン病の薬の効きが悪くなったら？

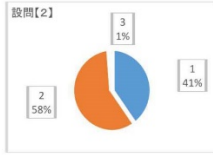
【1】講演はわかりやすかったですか。

回答	件数	シェア率
1 とてもわかりやすかった	25	29%
2 わかりやすかった	48	56%
3 どちらでもない	3	4%
4 難しかった	9	11%
合計	85	



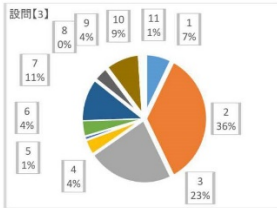
【2】講演内容は良かったですか。

回答	件数	シェア率
1 とても良かった	34	40%
2 良かった	49	58%
3 良くなかった	1	1%
合計	84	



【3】この企画をどこで知りましたか。『複数回答可』

回答	件数	シェア率
1 チラシ・ポスター	7	7%
2 朝日新聞	35	36%
3 読売新聞	24	22%
4 産経新聞	4	4%
5 保健所	1	1%
6 病院	4	4%
7 学会HP	11	11%
8 Facebook・Twitter	0	0%
9 インターネット	4	4%
10 近畿大学	9	9%
11 その他	1	1%
合計	98	



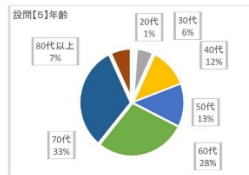
【4】お気づきの点・ご要望・本日の感想等、ご自由にお聞かせ下さい。

※重複する内容は省略しております。

- 前半の部はわかりやすく参考になった。後半の部は難しく理解できなかった。
- 医学専門の略語が分かりにくかったが、最後に説明頂きました。「白い巨塔」の参考にさせていただきます。
- DBSは少し難しかった。
- 次回は是非レジュメをご用意ください。お願いします。
- 外科治療はよくわかりました。
- 加齢に伴う病気の完治(社会復帰)は無い難病と思いが痛みます。今後の学術的發展を祈ります。患者に希望を持たせる様な話を。
- 自分がこの病気になるまでパーキンソン病の事は何も知らなかった。これを機に少し病気について学びたいと思いました。ありがとうございました。
- 新聞では当日の講演内容が書かれていなかったで、日々の内容を教えて頂ければよかったですと思います。
- パーキンソン病について大変よくわかった。外科と内科のタッグの重要性も理解できた。
- とてもよく理解できた。今日参加して良かったです。
- 予め質問を受け付けてほしかった。
- 朝日新聞を見て知りました。ウイークとの事で初日に来ましたが、できれば、日程、講座内容も併せてお知らせ頂けると大変助かります。
- このセンター内に詳しい資料(22~26日)がなかった。資料があればいい。メモ書きをしていたら書けない。
- 患者自身が何科に受診したらいいかわからない時に総合内科で何科に行きなさいと言ってほしい。
- 質問の時間が欲しかった。
- やはり進行するものであると聞き、仕方ないのか...という思いです。
- パーキンソン病患者の日常生活や心構えの仕方等教えてほしかった。
- DBSの昔の手術の仕方等を聞いても仕方ないと思いました。
- 2種類の治療法、手術、分かりやすく説明があった。
- 中々聞く機会のない話だった。パーキンソン病はドーパミン内服はよく聞くが、手術も症状や時期によりあると言う事が理解できた。
- 医学の進歩には驚きました。難しい言葉が多かった。
- 1時間は長すぎる。40分×3人で2時間が良い。
- 相談時間が有ればよかった。
- 症状別(今日のパーキンソン病以外の症状)もやって欲しい。他の脳性マヒに関するのはいないのでしょか。子供が脳性マヒで多数受診したが痛みが取れない状態です。
- 他の日も来てみたい。
- 体験が欲しかった。
- わかりやすく勉強になりました。ありがとうございました。
- 代理(患者の)で拝聴しました。とても分かりやすく、経路療法がよく理解できた。また、病院に伺いたいと思います。
- 診察していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。
- ありがとうございました。現在の健康に感謝します。

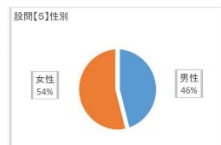
【5】年齢

回答	人数	シェア率
10代	0	0%
20代	1	1%
30代	5	6%
40代	11	12%
50代	12	13%
60代	25	28%
70代	29	33%
80代以上	6	7%
合計	89	



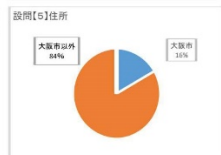
【6】性別

回答	人数	シェア率
男性	41	46%
女性	48	54%
合計	89	



【7】住所

回答	人数	シェア率
大阪市	14	16%
大阪市以外	71	84%
合計	85	



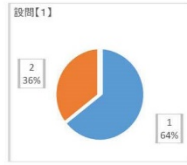
大阪市		阿倍野区 住吉区	
港区	天王寺区		
大阪市以外			
伊丹市	神戸市		
枚方市	門真市		
川西市	高崎市		
吹田市	芦屋市		
池田市	守口市		
橋本市	城東市		
堺市	高槻市		
宝塚市	大津市		
八尾市	泉佐野市		
三田市	前橋市		
南河内郡	津市		
洲本市	堺川市		
奈良市	東大阪市		
大東市	河内長野市		
尼崎市	箕面市		
岸和田市	奈良市		

## 2. おおさか脳神経内科ウイーク

5月23日(木) テーマ 認知症：知って学んで準備して

【1】講演はわかりやすかったですか。

回答	件数	シェア率
1 とてもわかりやすかった	68	64%
2 わかりやすかった	38	36%
3 どちらでもない	0	0%
4 難しかった	0	0%
合計	106	



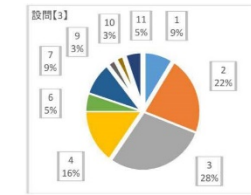
【2】講演内容は良かったですか。

回答	件数	シェア率
1 とても良かった	67	63%
2 良かった	39	37%
3 良くなかった	0	0%
合計	106	



【3】この企画をどこで知りましたか。(複数回答可)

回答	件数	シェア率
1 チラシ・ポスター	10	9%
2 朝日新聞	26	22%
3 読売新聞	33	28%
4 産経新聞	18	16%
5 保健所	0	0%
6 病院	6	5%
7 学会HP	11	9%
8 Facebook・Twitter	0	0%
9 インターネット	3	3%
10 近畿大学	3	3%
11 その他	6	5%
合計	116	



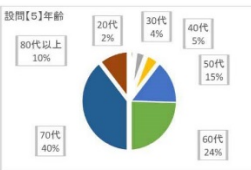
【4】お気づきの点・ご要望・本日の感想等、ご自由にお聞かせ下さい。

※重複する内容は省略しております。

- ・日常の事なので、勉強になりました。
- ・サポート養成講座をしているので、内容も説明方法も参考になりました。テレビや教本にない内容もあり、よかったです。
- ・とてもためになりました。ありがとうございました。
- ・とてもよかったです。
- ・認知症の事がとてもよくわかりました。
- ・認知症の接し方がよくわかりました。
- ・接し方ができるかどうかかわりませんが、心がけたいと思います。
- ・認知症の立場から話を聞きました。悲しい気持ちになったこともあります。今はマシですが、これからどうなるかが心配です。今日の話を実家に聞いてもらいたいです。
- ・今後の生活習慣に生かしたい。
- ・再認識出来たり、大事な点が見つかり、凄く身になりました。
- ・質問時間がほしかった。
- ・楽しく話が聞けました。
- ・適当にユーモアもあり、参考になりました。
- ・最近忘れがひどくなりました。気を付けたいと思います。
- ・認知症について不安を持って暮らしています。とても参考になり、心が丈夫になりました。
- ・先生の話は、心にしみのお話でした。
- ・レジュメを用意してほしい。
- ・認知症にならないよう、気を付けたい。
- ・先生が早口で聞き取りにくかった。
- ・新聞には開催日ごとの講義内容が掲載されていなかった為、前日の講義を聞きそびれた。受講しなかったのに残念です。開催日ごとのテーマを掲載してほしい。
- ・貴学会が市民対象にこのような公開講座を開催して下さることに、感謝します。
- ・お医者様の話はわかりやすいので、正しい知識を得たいときは参加しています。もう少し詳しい内容でもよかったです。最近は情報が溢れています。
- ・認知症の人が大きな病院に入院できるのか？
- ・現状(物忘れ)打開について、もっと知りたい。
- ・認知症より厄介なのが、認知不足の政治家。
- ・もう少し早く告知してほしい。(22日の夕刊で知った。)
- ・神経内科全体の話と思い参加しました。認知であった。
- ・場所が分かりにくかった。
- ・高齢者90歳以上でもABはどうなっているのでしょうか。減少はないのですか。

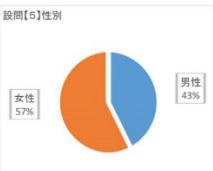
【5】年齢

回答	人数	シェア率
10代	0	0%
20代	2	2%
30代	4	4%
40代	5	5%
50代	16	15%
60代	26	25%
70代	42	40%
80代以上	11	10%
合計	106	



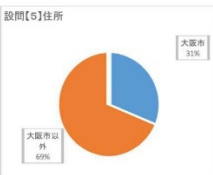
【5】性別

回答	人数	シェア率
男性	44	43%
女性	59	57%
合計	103	



【5】住所

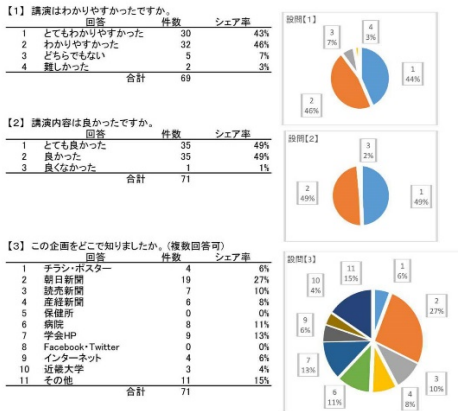
回答	人数	シェア率
大阪市	33	31%
大阪市以外	72	69%
合計	105	



- 大阪市
- 東淀川区
  - 大正区
- 大阪市以外
- 枚方市
  - 西宮市
  - 阪南市
  - 東大阪市
  - 貝塚市
  - 戸田市
  - 吹田市
  - 交野市
  - 池田市
  - 八尾市
  - 堺市
  - 高槻市
  - 北九州市
  - 大東市
  - 狹野市
  - 門真市
  - 川西市
  - 泉大津市
  - 茨木市
  - 名張市
  - 寝屋川市
  - 香芝市
  - 高石市
  - 京都市
  - 伊丹市
  - 尼崎市
  - 摂津市
  - 寝屋川市
  - 泉佐野市
  - 河内長野市
  - 奈良市
  - 奈良県
  - 豊中市
  - 高槻市
  - 宇治市
  - 守口市

### 3. おおさか脳神経内科ウイーク

5月24日（金）テーマ 「健康を決めるのは誰？」脳神経内科で診る病気-重症筋無力症と上手に向き合おう-

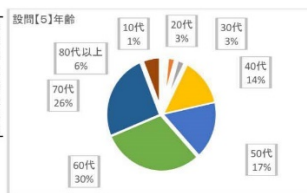


**[4] お気づきの点・ご要望・本日の感想等、ご自由にお聞かせ下さい。**

- ※重複する内容は省略しております
- ・患者の考え方の差が治療の差になっていると思われる。
  - ・専門家ではない患者なので読んでおればよいという考え方は間違っていると実感した。
  - ・新しい治療法を聞いて希望が持てた。
  - ・患者としての在り方を改めて良かった。
  - ・講演内容の資料があれば良かった。
  - ・司会の先生の声が聞き取りやすかった。
  - ・専門用語の内容が分かりやすかった。
  - ・当事者の話と行政の話が身近に感じられて良かった。
  - ・フレドニンを長年飲んでいるのですが、新たな薬も治療として考えてみたい。
  - ・難病かどうか、難病になった時の対策を今後ますます詳しく知りたくなった。
  - ・難病に関して知る機会が持てて良かった。
  - ・難病があるので、話を聞いて希望が持てた。
  - ・いろいろな薬に出て、もっとこの病状について知りたい。
  - ・医師すると共に、とこの病状に神経内科があるのかわかれば、もっとスムーズに受診できるのではないかと。
  - ・中山先生の話は分かりやすく勉強になった。
  - ・患者の会があることを知れて良かった。
  - ・新しい考え方が専門医以外にも広く認知されることを望む。
  - ・SmnMM遺伝子を指すEMTが本流となり速ある話、ステロイド大量投与、その後長期維持治療により副作用に苦しんでいた者にとってショックでした。
  - ・話が分かりやすくて大変良かったです。
  - ・ヘルスリテラシーの言葉の意味が良くわかりました。
  - ・フレドニンを少なくし、分子学的診断結果が出てきて希望が持てた。
  - ・患者さんの声が一番分かりやすくて良かったです。
  - ・ヘルスリテラシー、EMTの話が良かったです。
  - ・MG患者の現状治療の事も興味深い。
  - ・1年に1回ばかりで欲しい。
  - ・早く強く薬を開発して欲しい。
  - ・家（ステロイド）の話を詳しく聞けて良かった。
  - ・宮下さんの話が分かりやすく参考になった。
  - ・ハンドアウトが欲しかった。
  - ・話が早すぎてメモが取れない。
  - ・質疑応答を入れてほしい。
  - ・4人目が分かりやすかった。
  - ・大阪府が積極的に対策を練って欲しい。
  - ・日野の事が良かった。
  - ・長根先生の話がシンプルで分かりやすかった。
  - ・栗川先生の和やかな司会が良かったです。
  - ・栗川先生の常に自身の治療を軸に、前向きで患者の立場を思う考え方が良かったです。
  - ・府下の状況を聞いて良かった。
  - ・宮下先生のDrと患者の関係の話が良かったです。
  - ・長根先生のMG治療の現状と目標の話が良かったです。

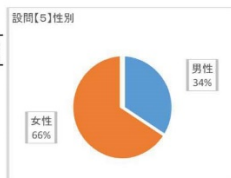
#### [5] 年齢

回答	人数	シェア率
10代	1	1%
20代	2	3%
30代	2	3%
40代	10	14%
50代	12	17%
60代	21	30%
70代	4	6%
80代以上	8	11%
合計	70	



#### [5] 性別

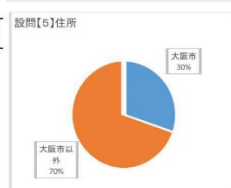
回答	人数	シェア率
男性	23	34%
女性	44	66%
合計	67	



#### [5] 住所

回答	人数	シェア率
大阪市	21	30%
大阪市以外	48	70%
合計	69	

住所	人数	シェア率
大阪市		
城東区	鶴見区	
東淀川区	旭区	
中央区	阿倍野区	
大阪市以外		
伊勢市	熊取町	
岸和田市	豊中市	
西宮市	大東市	
八幡市	宝塚市	
東大阪市	神戸市	
吹田市	鎌倉市	
福山市	茨城県	
姫路市	羽曳野市	
枚方市	堺市	
和泉市	高槻市	
奈良市	八王子市	
岸和田市	京都市	



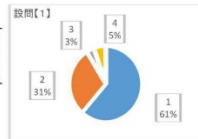


## 4. おおさか脳神経内科ウイーク

5月25日(土) テーマ よくわかる、脳卒中のこと

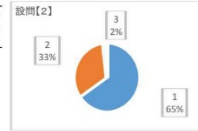
### 【1】講演はわかりやすかったですか。

回答	件数	シェア率
1 とてもわかりやすかった	36	61%
2 わかりやすかった	18	31%
3 どちらでもない	2	3%
4 難しかった	3	5%
合計	59	



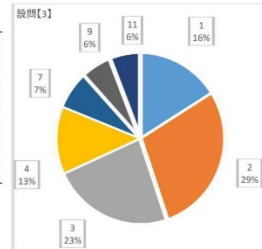
### 【2】講演内容は良かったですか。

回答	件数	シェア率
1 とても良かった	39	65%
2 良かった	20	33%
3 良くなかった	1	2%
合計	60	



### 【3】この企画をどこで知りましたか。(複数回答可)

回答	件数	シェア率
1 チラシ・ポスター	11	16%
2 朝日新聞	20	29%
3 読売新聞	16	23%
4 産経新聞	9	13%
5 保健所	0	0%
6 病院	0	0%
7 学会HP	5	7%
8 Facebook・Twitter	0	0%
9 インターネット	4	6%
10 近畿大学	0	0%
11 その他	4	6%
合計	69	



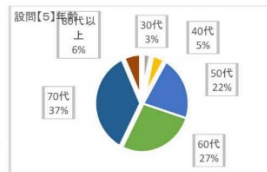
### 【4】お気づきの点・ご要望・本日の感想等、ご自由にお聞かせ下さい。

※重複する内容は省略しております。

- ・麻堂先生のお問いがおもしろかった！ 分かりやすかった。
- ・大阪市内の担当する病院を知りませんでした。
- ・肥満で健康にいい事は一つもない事を痛感した。
- ・今回は是非レジュメをご用意ください、お願いします。
- ・私の耳が遠いのか坂口先生のお話はマイクの使い方が悪く話が聞こえなかった。(資料は素晴らしいが何を話されているのか分からない)
- ・中村先生は分かりやすく聞けた。
- ・Q&A形式は分かりやすくなって良かった。最新医療は動画も含めて内容も充実していた。
- ・先日同様、盛りたくさんでキャバオーバー気味でした。
- ・専門的なお話を分かりやすくしてくださいましたが、時間にゆとりがあるとうれしいです。一般人は話の内容についていくのが早くないので。
- ・脳の活性化につながりました。ありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・大変良かった。
- ・時々今回の講習会をやってください。
- ・とても分かりやすい説明でよかった。
- ・内容の印刷物(コピー程度)が欲しかった。病気の内容から原因、予防と細かくわかりやすくすぐ勉強になった。スライドもわかりやすかった。
- ・ビデオがすごかった。医学の進歩がすごい。
- ・脳卒中の貴重なお話ありがとうございます。やはり早期発見、早期病院へが一番なんですね。これから機会があればこういう講演会に参加したいと思います。
- ・特に中村さんの動画を屈指して楽しみを実感することができた。とても分かりやすかった。
- ・脳ドッグで何がわかるか、どのような視点で見えるものか、治療への移行割合について等も聞けるとよかったです。3講演とも興味深かった。
- ・今日は多岐教育費できました。脳神経で見てもいいと思った。
- ・脳ドッグを検討しようと思いました。リアルな手術の様子はショッキングでした。
- ・仕事でアンダーライティングの知識が必要で5大疾病は特に知りたかった内容でした。私のように平日や日中の参加が難しくとも拝聴したい参加者のため、是非土日や夜の講演を希望します。
- ・日頃聞けないことが聞けよかったです。今後も市民公開講座を続けてほしい。
- ・知りたかったことがよままとまっていた良かったです。少々スピードが速かった。
- ・予防の意味、時間との勝負について良く理解できた。予防とリスクについての考え方もよかったです。

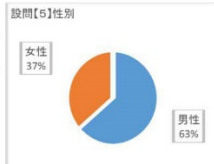
### 【5】年齢

回答	人数	シェア率
10代	0	0%
20代	0	0%
30代	2	3%
40代	3	5%
50代	14	22%
60代	17	27%
70代	23	37%
80代以上	4	6%
合計	63	



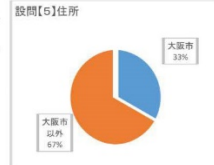
### 【5】性別

回答	人数	シェア率
男性	38	63%
女性	22	37%
合計	60	



### 【5】住所

回答	人数	シェア率
大阪市	20	33%
大阪市以外	40	67%
合計	60	



大阪市	
北区	住之江区
西淀川区	住吉区
都島区	旭区
城東区	天王寺区
大阪市以外	
北九州市	奈良市
寝屋川市	猪名川町
八尾市	熊取町
高槻市	交野市
尼崎市	神戸市
大和郡山市	吹田市
豊中市	茨木市
枚方市	



## VIII. 自由記載

自由記載は、設問 35 評価できる点、設問 36 改善すべき点の 2 設問であった。項目別にも一部自由記載を紹介したが、個別の意見の中に重要な論点も含まれており、以下に自由記載を示す。なお、重複する意見などで一部は割愛した。

### 1. 設問 35 評価できる点

#### 運営について

- 1) 大会長の心配りを感じた良い大会でした。
- 2) いつもと変わらないところは、ある意味便利。
- 3) 案内が丁寧であった
- 4) 近大マグロの講演は非常に良かった。神経学とは無関係だが、近大のすばらしさは有名であり、もっと近大の素晴らしいところ(大学経営や、学長のリーダーシップ)の講演を聴きたかった。
- 5) 良かったと思います。
- 6) 日本神経学会事務局からの事前の演者に対してのきめの細かいアナウンスがすばらしかった。
- 7) 車椅子での発表にしっかり対応してくださった。
- 8) 運営は良かった
- 9) あまりスケジュールがタイトではなかったのですが、これくらいの余裕がある方が良かったです。例年、予定をキツキツに埋め込み過ぎな印象はありました。
- 10) 内容は良かったと思う
- 11) 学会抄録アプリが便利で有用性が高い。
- 12) プログラム構成のバランスが良かった
- 13) アプリの内容が充実しており、手軽に抄録を確認できた点がよかったです。
- 14) アプリでポスターを別にして日程表を作成していたのは、不便
- 15) 学会アプリが有用でした。
- 16) 発表日が早くわかったので、ホテルや電車の予約がしやすかった。
- 17) 近大マグロが食べられたのでよかった。
- 18) 構成・運営共によく練られた素晴らしい会だったと思います。
- 19) アプリはとてもよかったです。
- 20) 円滑な運営だと感じました
- 21) クロークの場所がよかった、書店が充実していた
- 22) 全員懇親会は良かったが、参加者が多すぎて動きづらかった。
- 23) スタッフの対応もとてもよかったです。
- 24) Excellent Japanese and international colleagues for constructive discussions and collaborations.
- 25) 個々の案件では不備もあったが、全体としてはよく準備できた大会だと評価できる。
- 26) 係りの人の対応がよくとてもいい学会でした。
- 27) 進行の遅延がほぼなくスムーズであった。
- 28) Well organized. Thanks for including me.
- 29) 参加者が多く学会が盛り上がっている様子がうかがえました。多くの参加者を見込める、プログラムの構成等の事前の取り組みの成果だと感じております。今後の学会運営につなげていっていきべきと感じました。
- 30) 企業の協力もあり運営面でとても良かったです。
- 31) 大変幅広くテーマが選ばれており、また海外の研究者の参加も目に見える形となり、国際化が進んでいるというように感じました。また、各テーマで幅広い参加者のニーズにこたえられるよう随所に工夫が見られており、個人的にも大変有意義な時間を過ごさせていただきました。
- 32) お疲れ様でした！全体に素晴らしい運営で、プログラムも優れていたことは、過去最高の参加者が集まったことで証明されたと思います。
- 33) どの会場もほぼ座席が確保できた。大入りになるプログラムとこじんまりしたプログラムの会場配分が良かったと思います。
- 34) the organizers, the venue, the efficiency of the organizing committee
- 35) A very useful meeting to evaluate scientific approaches in Japan and Europe in the study of neurological diseases, effective discussions on problematic issues of neurology
- 36) Generally good
- 37) Comprehensiveness of chosen topics.
- 38) Get Together
- 39) 事前登録で受け付けがスムーズだった。マラソンレクチャーは良かった。

- 40) アプリが素晴らしかったです。ありがとうございました。
- 41) ウェブ上で参加費や教育コースに申し込み、決済が完了できる点
- 42) アプリがとても使いやすく、会場や講演内容が把握しやすかった。
- 43) メールによる発表者への事前の案内がタイミング等よかった。
- 44) アプリが秀逸であり、複数の会場を効率よく回る事ができる。
- 45) 電子抄録集はとても役に立ちました。スケジュール管理もでき、大変助かりました。費用がかかるとは思いますが、今後ご提供いただければと思います。
- 46) 今回のポケットプログラムは良かった。
- 47) 抄録検索アプリが便利
- 48) 研修医やレジデントが参加しやすくなった点は良いと思う

## 会場

- 1) 会場の立地と広さは丁度良いと思いました。
- 2) 交通の便が良い場所を会場に選択されているのはとても助かりました。
- 3) 少々手狭だったが、一か所で行われ移動しなくてよかった。
- 4) 会場の広さが適当。
- 5) 会場がよかったですね。移動範囲も少なく個々の会場は広くて快適でした。学術的、特別講演(マグロ)あり楽しい集会でした。
- 6) 会場は適切だったと思います。
- 7) 大阪開催は交通の便が良く有難いです
- 8) クロークの場所がわかりやすくてよかったです。
- 9) 会場内で迷うことが少なかった。
- 10) 会場が非常に快適でした。
- 11) 講演会場やポスター会場がコンパクトに必要な場所へ移れて濃い学会だった。
- 12) 駅までの移動にホテルのバスが利用できてよかった。都心部での公共のバス利用は初めてだとなかなか難しい場合が多いので。会場が駅に近くないときはシャトルバスがあるとうれしい。
- 13) 会場が非常にわかりやすく良かった。入口に案内の方がいたので、目的の場所に行くのに迷うことがなく、よかった。
- 14) 駅からのアクセスが良いこと 閑散とする会場が少なかったこと
- 15) 縦に長い会場(ビルディング)だったので、移動が楽だった。
- 16) 会場が比較的広くて、立ち見が余り出なかった
- 17) guide が比較的たくさんいて問い合わせしやすかった。

## プログラム

- 1) 教育的セッションが多くなってよいと思います。
- 2) プログラムが面白かった。
- 3) 全体としてたくさんの方が参加されており、シンポジウムの内容も充実していた。学会事務局および大会長校の努力によるものと思います。レジデントトーナメントの採点システムが正常に作動した初めての会であったかと思えます。会場がほぼ一箇所移動距離が少なく、ポスター会場も広がった点など、インフラも良かったと思えます。本当にありがとうございました。
- 4) 教育コースが非常に魅力的だった(受講できなかったが)、チェックポイント阻害薬の神経筋有害作用など、今欲しい情報が得られたのはよかった。
- 5) 二日間きっちり出席できて、また、通常と異なる分野の話が聞けて新鮮でした。
- 6) プログラムが臨床医に興味深いものが多く良かったです。
- 7) 興味深いシンポジウムが多かった。
- 8) 一般演題口演の質疑時間は3分程度がよい
- 9) プログラム構成が充実していたと思えます。
- 10) 教育講演で自律神経 症候学 筋肉の評価 創薬ベンチャーなど真摯な研究者のご発表を拝聴でき、すがすがしかったです
- 11) 一例報告を口頭発表に採択頂き、大変有難うございました。座長の先生、コメンテーターの先生、フロアの先生から貴重なご教示を頂き感謝しています。
- 12) テーマがよかったです。
- 13) 一般演題口演発表の発表時間(10分+討論5分)はちょうどよかったです。次のセッションとの間の時間も確保されており、移動がスムーズにできました。
- 14) 教育セミナーが非常に良い
- 15) シンポジウムのテーマにタイムリーなものが多かった。
- 16) 初参加でしたかコメディカル向けの研修が思ったより充実しており、嬉しかった。

- 17) メディカルスタッフ教育セミナーに参加させていただきました。講師の先生がたのお話がとても興味深く分かりやすく良かったです。ありがとうございました。
- 18) 教育コースのテーマが良かったです。神経難病の呼吸と、終末期のコースが。
- 19) 各セッションの間の時間が長めにとってあり、前のセッションが少し延びてもその分が吸収できるのが良かったです。
- 20) 筋肉疾患のセッションが多く、神経疾患のみに偏らない姿勢が良かったです。妊孕性についてのセッションについては非常に興味深く考えさせられました。ああいった医療に対する問題提起を行うセッションは意義深く、重要と思います。当院の臨床心理士さんに参加を勧め、仕事の合間の土曜日に参加したそうです。今後の診療上、とても役に立ったと話していました。
- 21) 教育セミナーに参加させていただきました。教育セミナーのみ参加できるシステムは、良かったです。今後も続けて下さい。
- 22) 教育コースを中心に受講しましたが、基礎的な内容から最新の情報まで含まれ、とても勉強になりました。
- 23) 非常に多くの演題を効率良く配置されていると、いつも感じております。
- 24) 演題発表時間が他学会よりも長めで、良かった
- 25) セッション間の移動時間などは比較的ゆとりが持てるスケジュールでした。
- 26) 会場が小さめだったので、次のセッションには移動しやすかったです。また、基礎・臨床や演題の選択についてはとてもバランスがとれており、聴講して大変勉強になりました。
- 27) シンポジウムやホットトピックスが多岐にわたっており、興味深い内容となっていました。
- 28) 良い企画が多かった。
- 29) 教育関連の内容が比較的充実していたのは良かったです。
- 30) 臨床的な内容が充実していた
- 31) 企画の内容はよいものが多かったと思います
- 32) 英語セッションが増えた、ディスカッションが活発だった
- 33) ポスターセッションと他の企画がブッキングしていないのは良かった。
- 34) 全体的に温かい雰囲気が伝わってきました。大会長の楠先生やプログラム委員会の先生方の熱意を感じるプログラムで満足しました。
- 35) The time control was good, and the program and speakers were excellent.
- 36) Poster Session
- 37) 学生、研修医、パラメディカル、市民の参加を意識されて、成果があると感じました。
- 38) 学生が積極的に参加され、シンポジウム等でも発言されました。多いに評価されるべきと思います。
- 39) 発表とメディカルセミナーが重なってしまったのが残念でした。
- 40) スペシャリストから研修医やコメディカルまで参加出来るようにプログラムされている
- 41) コメディカルの発表が増えてきたのが良いことだと思いました。
- 42) プログラムはよく練られていたと思います。
- 43) プログラムが良かったと思います。どこの会場もにぎわっていて活気が感じられました。教育系が充実していたと思います。
- 44) コメディカルセッション
- 45) シンポジウムが充実していた

## 国際化

- 1) 英語セッションが比較的多いこと
- 2) 英語セッションのレベル
- 3) The application for conference schedules and abstracts was outstanding. I attend many scientific conferences, and this application was far better than most.
- 4) Very accommodating to foreign participants.
- 5) The committee helps me a lot to modify the schedule regarding my departure flight ticket
- 6) I am Thai neurology fellows visited this great annual meeting for the first time. I am so appreciated that my abstract was accepted and got a chance for attending this meeting. There were many interesting topics including in both Japanese and English sessions. The lunch boxes were great as well. The thing I'd like to suggest is that more details for poster presenter who doesn't get travel grant (my colleges got this e-mail). However; I enjoyed this meeting a lot and hopefully will come again in the next year. Thank you.
- 7) 英語セッションが増えたこと。
- 8) English session
- 9) 英語セッションがあったこと
- 10) i was late to deadline - but u all helped me to made visit possible, thank you.!

- 11) 国際化に向けた海外演者の招聘や一部セッションの英語化は非常に有用だと思いました。周囲の反応でもかなりの戸惑いがあるようでしたが、学会も変わり続けたいと思います。
- 12) もし本当に国際化を狙うのであれば、セッションはすべて英語でも良いだろう。プレゼンもポスターも。結局は英語をどんどん使っていないと、いつまでたっても皆成長しないまま終わってしまう。アジアからの先生を呼ぶことができない。本学会がアジアの神経内科をリードし、存在感を高める学会にするには、すべて英語化は最低限のラインかと思います。その後海外の先生をたくさん招く対策になるかと思います。
- 13) 日本語セッションの廃止
- 14) excellent enough ! highly appreciated
- 15) More English sessions
- 16) Prompt email responses, more english sessions, some lunch symposiums should also be in English
- 17) a large amount of information presented at the exhibition in English
- 18) えいごでのプレゼンを増やすべき。
- 20) there should be more snacks (food) not only drinks, Prompt email responses, more english sessions, some lunch symposiums should also be in english
- 21) ・Travel grants for foreigner only provide tickets, but not the accomodation. If the english session is low, should you allow foreign come only to present his poster at the scheduled time.
- 22) 最先端の海外の招待演者を増やすべき

## その他

- 1) 運営とは関係ないかもしれませんが、企業ブースのスムーズ提供がすごく良かったです。
- 2) 案内用のポケットプログラムが良かった。
- 3) よく企画された学会で運営も円滑に行われた良い学会
- 4) 全てにおいて、事務局が本当によく頑張ってくださっていました。ありがとうございました。
- 5) 懇親会、もう少し広くても良かった。ただ出し物には工夫が見られ、楽しんだ。
- 6) 弁当が美味しかった
- 7) Good
- 8) クイズ大会は上級医も参加できるようにしてほしい
- 9) 素晴らしかったと思います。
- 10) ランチョンセミナーで宣伝ではなく勉強できたのが良かった。
- 11) ランチョンセミナーの予約制度でなくなりとても良かった。
- 12) 企業ブースのカプチーノとほうじ茶が良かった
- 13) 研修医トーナメント
- 14) 一般病院からは平日にはなかなか参加できませんので、平日にアカデミックな、土日にクリニカルな～プライマリ・ケア的な教育講演を配分していただけるとよいと思います。そういう意味で、生涯教育講演会が土曜日の午後は良いと思います。
- 15) ランチョンセミナーが何とか行き渡った。
- 16) Clinical and patient case presentation, social event (meeting together), Japanese food and hospitality, safety

## 2. 設問 36 改善すべき点

### 運営について

- 1) イブニングセミナーの入場券配布がシンポジウム等が始まってからのことがあり、シンポジウム等が始まる前に配布を開始してほしい。
- 2) ポスター発表でコメンテーターと座長は役割が重複しがちですので、前者は不要かとも思います。討論時間 1 分は無いと同じなので、討論時間を設けるなら 3-5 分はいただきたいです。
- 3) 空き時間が多すぎる。
- 4) ランチョンは事前登録のほうがよい
- 5) シンポジウムが重なりすぎている。一般講演の時間は暇している医師が多すぎる
- 6) 会期が長すぎると思います。
- 7) もうすこし早めにプログラムが分かると予定を立てやすい。
- 8) 代表理事による学会の方針についての講演を行っていただき、学会員として共有すべきものを認識すべき
- 9) 2 日目のイブニングセミナーに参加しましたが、大量のお菓子を提供され、うんざりしました。同じ値段の軽食かペットボトルの方がまだましです。あれなら要らないです。
- 10) 神経内科として自律神経や交感神経に関する全身的な症状、精神的なものも含めたセミナーがあると面白いと感じました。

- 11) 会期に土日が含まれた方がより参加しやすいと思いました。
- 12) 男性トイレが満員、エレベーターも満員、並んでいると開始時間に間に合わず、会場が寒すぎる。休憩場所もよくわからず、WiFiつながらず。名札入れが小さく入れるのに一苦労、もらった手提げもみずぼらしくて、よくみれば誰も使っていない。ポスター貼るのにハンマーありということで喜んで探しても、それらしい人はだれも見つからず。教育コースが予約で一杯でほとんど入れない。例年になく運営が雑な印象が強かった。
- 13) プログラムに魅力がなく、つまらなかった。
- 14) 病院勤務者が全日程参加することはほぼ不可能です。せめてプレナリーセッションやシンポジウムをリアルタイムでネット配信していただきたいと思います。
- 15) 社員総会を初日の10時から開始したことに不満があります
- 16) 平日の開催を減らす。
- 17) プログラム雑誌がわかりにくい。日にち別に各セッションをまとめてほしい。
- 18) 座長に、座長の役割をきちんと伝えておかれると良いと思いました。時間厳守に然程重点を置かない座長とも見られ、演者や次のセッションのため会場間を移動したい参加者への配慮に欠けている状況があった。
- 19) セッションの組み合わせが悪いのか、部屋が小さいのか満席で溢れて見れない講演が多数あった。(例えば、金曜13時頃の岡野先生の講演はもっと広い会場を使うべきだった)
- 20) 会場内の移動を考慮して、余裕のある休憩時間を設定いただくとより良い運営につながると感じました。
- 21)ポスター発表の時間が遅すぎる
- 22)聴講したいプログラムが重なることが多く、残念だった
- 23)水曜日から休みがとれる職場は少ないことを理解してほしい。
- 24)事前予約が多すぎて、予約が取れない
- 25)仕事の都合で木曜のポスター発表(この日は開始時刻が遅く設定されていた)後に大阪を発ちました。偉い先生の講演が学会にとって重要だろうとは承知しておりますが、ポスター発表の時間が遅れると、帰るのが遅れ、翌日の出勤にも支障となります。講演のどちらかを午前にするなど、次回以降ご配慮お願い致します。
- 26)会期が長いと、医療機関の仕事の都合で、参加が難しくなる
- 27)ランチセミナーの際の整理券の配布の仕方が良くない。券をもっていないと開始ギリギリまで待たされた。前もって配る必要は無いのではないかと？
- 28)開始7時30分は早すぎます。私は首都圏在住だったのでホテルから向かえば良かったのですが、首都圏や関西など大都市開催の場合、近郊(例えば今回であれば京都や神戸)からの参加者は自宅から通うことになります。教授クラスは会場ホテルに宿泊しているのかもしれませんが、中堅以下の世代では保育園の送迎などを行う参加者も複数います。実際に教育コースでは満員御礼なのに空席が続出していました。一方で夕の終了時刻には余裕がありました。再考を願いたいと思います。
- 29)開始時間が早すぎた。教育コースに参加しやすくしてほしい
- 30)演題をもう少し臨時的にするべき
- 31)会期(土・日を入れて欲しい)
- 32)2日目の Vincent 先生の招待講演時、講演がまだ終わっていないにもかかわらず少なくない参加者が足早に出口に向かい、ステージの前に列ができていた。Vincent 先生に対して大変失礼であり、とても恥ずかしい思いがし、またモラルの低さに残念な思いでした。一緒にいた友人の先生も同意見でした。もしその原因がランチセミナーのお弁当に起因するならば(券を持っていない人がならぶために出て行く?)、なにか良い方法はないものではないでしょうか。
- 33)海外の国際学会のように、終了時間を午後8時くらいまで伸ばして、日数を短くして欲しい。
- 34)開業医の先生も参加しやすい会、日曜日の開催も検討していただきたいです。開業医する脳神経内科の先生がたも増えてきていると思います。
- 35)最優秀賞ポスター演題の発表後にマークがあるといいと思います
- 36)イブニングセミナーの開始時間が中途半端
- 37)糖尿病学会などにならない3日間にすべきである。
- 38)ランチョンが混みすぎる。
- 39)ポスター発表と口演発表を同じ時刻にして選べる様にすると良いと思います
- 40)土曜日の講演が少なかったのが残念だった
- 41)ランチョンセミナーのお弁当に青のりが多量に付いた品があり、ポスター発表の前だったので配慮して欲しかった(残すのはもったいないので)
- 42)ランチョンセミナーの参加の仕方を前のようにもどしてほしい  
参加チケットをとっても来ていない人が続出している  
英語のセッションのあり方を考え直したほうが良いのではないかと  
日本語の部屋は入りきらないほどの人で、座れるのは英語だけでした
- 43)シンポジウムのスケジュールが重なっているため、聴きたいものを1つしかきけない。口演しかない時間帯は特に聴きたいものがない。事前登録でランチョンも予約出来るようにしてほしい。

- 44)どの学会でも同じだが毎年開催の総会で新規性が乏しく前年度と変わりばえしないように感じることはある。臨床の学会なのか基礎の学会か分からなくどちらも中途半端に感じる事が多い。
- 45)毎年開催されており神経内科の各分野をプログラム構成で均等化する必要はないので、木曜朝からの2~3日に会期や会場を集約してほしい。
- 46)多忙で救急対応をしている病院に勤める医師ほど、平日の参加は困難なので、土日開催いただけの方がありがたいです。
- 47)レジデントトーナメントとハンズオン／教育セミナーが被っていたため、後者を受講できなかった
- 48)メディカル部門に対するセッションがもう少し充実してほしい
- 49)学術とは何か？ ‘働き方改革’や‘女性参画’の重要性は理解できますが、学術的内容からはほど遠かった気がいたしました。
- 50)演題が多すぎて聞ききれませんでした。どうしても限られた時間での参加となりますので、もう少し演題数を絞って頂ければ幸いです。
- 51)プログラムで空き時間があり、時間が活用できにくい。全体を通して開催日数を短くし、プログラム構成を考えていただきたい。
- 52)神経学会の会員の6割は一般病院勤務です。よって平日の水曜日(地方都市からの参加は前日の火曜日に出発の必要あり)からの参加ははきつい。まして、燃え尽き症候群のセッションでも地方の一般病院は人手が足りないので、内科学会のようにせめて日曜日(16:00くらいまで)も学会日程に入れるべき。
- 53)一般病院に勤務していると平日に何日も休めません。土日を入れて、レクチャーは土日開催にさせていただきたく思います。
- 54)最先端、ホットな話題を取り上げるべき
- 55)ポスターだけでヘロヘロになるほど質や量が良すぎた。同じ演題の分科会投稿を奨励してもいいと思う。なお、こちらでの学びを読売新聞電子版のコメント欄に使わせてもらいました。
- 56)日本語で聞いても難解な内容の英語のセッションが多かった印象で、もう少し学生や研修医の先生に聞いてもらえる平易な日本語の教育セッションがあっても良いのではないかと思います。
- 57)スライドサイズが旧態依然とした4x3サイズであるのはいかかかなものか。国際学会はほとんど16x9サイズであり、国際化を目指すのであれば早急に対応すべき問題と考える。学会運営業者の選定の際にも考慮すべき。2)海外主要学会との日程のバッティングが多い。日程設定の際に考慮されたい。
- 58)シンポジウムが平行しているものがく、興味があっても参加できないのが多かったと思います。会場の入り口の係りのひとが受付との連絡が悪い様子がありわからないといわれることが多かったです。
- 59)一般勤務医にとって平日の参加は特に地元以外では厳しいです
- 60)日曜日を入れるべき
- 61)開始時間が早すぎて、土地勘がないと開始時間に間に合わなかったです。
- 62)一般病院・開業医は平日の学会に参加できません。今後は内科学会のように学会の平日開催をどうかご検討下さい。神経内科全般全体のレベル向上に必要と思います。このアンケートは参加した人が大前提の質問でした。本当は参加しておりません☆(必須項目には不参加がないため)
- 63)発表とメディカルセミナーが重なってしまったのが残念でした。
- 64)シンポジウムの座長はその分野の専門家であるべきだと思います。また、シンポジウムの質問や討論がなされなさすぎる。Discussionの時間をとるなど工夫を。
- 65)COIの開示のみだけでなく、臨床研究は特定臨床研究なのかあるいはヒト指針で行ったのかを明確にすべき。
- 66)本屋たくさん来てましたがドリンクスペースとかにしたほうが議論や交流の場になるとおもう。
- 67)子連れで参加するのをもっと奨励して欲しい、うるさくないから。
- 68)他学会との交流シンポジウムは前はもっとあったような？
- 69)大会のすべての日程に参加するのは一般医師には難しくなっており、興味分野以外など全体像を見渡すことは個人的には不可能に近い感じます。最終日の大会帳の挨拶前に、注目度の高い発表内容や学会賞を獲得した内容を選んで小一時間で要約発表頂くと、一層ありがたい最終日になると思います。
- 70)could u please cover flight cost for PhD students, and young doctors from EECA countries.? thanks.. and we gonna participate and be inspired much more. thanks
- 71)今回、近場でしたので宿泊せずの参加でした。朝、病院に出勤してから11時頃の会場到着だと、興味のあるランチの整理券が手に入りませんでした。またイーブニングセミナーの配布時間になると、わざわざ会場移動して、並ぶ必要があるのも時間ももったいなかったです。ランチやイーブニングセミナーの整理券については、一部でいいので、ネットで事前申し込み制にさせていただけるとありがたいです。
- 72)会期が長すぎ、中身が空疎な感じがする。また、口演など同時進行のプログラムとなっているため、異なったジャンルの口演を聞くことができない
- 73)short program
- 74)平日中心の開催は、一般病院勤務者にはやや厳しいものがあるように思います
- 75)緊急シンポジウムの案内などがアプリできましたが、その内容について触れられておらず、日程表にも反映されていなかったもので、内容について連絡いただくと、足が向くと存じます。



- 76) 宿泊所の関係(会場からの距離, 朝食の開始時間等)から, 朝早い(8:00~)セッションの参加が難しい。開始時刻の調整が必要かと感じました。
- 77) 朝 1 番の講演のスライドチェックを前日はだめ, とメールで連絡されて困った。しかし前日に行ったら担当者には前日のスライドチェックを歓迎された。前日チェックはよいはずなのに意思統一がされていなかった。
- 78) フロア混み過ぎ、人気の高い森先生の講座が座らない人多過ぎ、広い会場が必要です。
- 79) 内容に比し学会期間が長すぎると思いました
- 80) 講演内容の平坦化、出来るだけ偏りをなくす。
- 81) 基礎は医学の発展に重要と考えるが、実際に神経学会に参加している医師の多くは臨床家であり、実臨床に即したポスターや講演を聞きたいと考える。もう少し、臨床に重点を置いた発表やシンポジウムなどを多くしてほしい。
- 82) 演題数が多すぎて玉石混交である。コメディカルや学生教育を重視するのは賛成だが、会場により立ち見すらできない会場が増えつつある。せっかく学会に参加しても、聴講したいセッションは混んでいて、結局ろくに聴講できずに帰ることも多い。
- 83) 参加受付の時間が後半の日程は短い。金曜は 17 時であった。遠方のため夕方到着し受付して、翌朝からのセッションに参加したかったが、夕方の受付が早く終了してそれが難しかった。朝受け付けてからではセッションへの参加が遅れてしまう可能性がある。
- 84) もう少し、シンポジウムの時間帯をばらけてほしい。見たいものが 2.3 個かぶってしまうと、せっかく来たのに勉強にならない。
- 85) 昼間、セッションがない時間帯をなくしてほしいです。子供がいたりすると、なかなか参加できない上に昼の貴重な時間ももったいないので。
- 86) 一般演題の時間と並行して(教育)講演を開催してほしい。
- 87) シンポの日定、スケジュールと口演をなるべく重複しないようにする(分野を変えるなどの配慮が欲しかった)
- 88) ポスター発表の時間が 5 分では短すぎる。ポスターも面白い発表が多いので、もっと詳しく話を聞けるようにした方がよい。

## 会場設備

### 会場一般

- 1) 会場が込みすぎている。
- 2) 会場が狭くわかりにくかった。
- 3) 大阪に、他に良い会場がないのであれば、学術集会は東京で開催してほしい。
- 4) 人気になりそうなセッションの会場は広いところを準備してほしい。立ち見が部屋の外までなっていた。
- 5) 会員 9000 人、参加者 5000 人の規模になっているようですので、学会開催地を収容できる余裕のある場所に特定してはいかがでしょうか？
- 6) 会場の問題(エスカレーター)で、講演後退室とランチョンセミナー参加者が混乱していました。
- 7) より大きな会場が必要になると思われそうですが、複数プログラムを同時に走らせて頂きたい。特に一般演題の口演の時間など興味のある演題がなければ持て余します。一方で外に出られるほどの時間もありませんので。
- 8) この会場はダメです。駅から遠いし縦方向の移動は面倒ですし、これではとりわけ障害者に厳しいと思います。国際会議場に値しません。また休憩場所が常にいっぱいでした。また、学会が準備したドリンクはすぐなくなりました(製薬会社ブースが充実していたので実害はありませんでしたが)。
- 9) 人気のあるセッションでは会場が狭く、入場するのも困難である。
- 10) ビルでの開催は移動が面倒
- 11) セッションごとに、聴講者数と会場スペースの不均衡があるようです。
- 13) 会場内の案内をわかりやすくしてほしい。
- 14) グランキューブは部屋の配置などは分かりやすいのですが、施設内移動に不便を感じます。学会自体に改善の必要なことはないと思いました。
- 15) 会場や座席の確保
- 16) エレベーターで上に行ったり下に行ったりは大変でした。
- 17) エレベーターで上下動を頻回に行わなければならず不便だった。リーガロイヤルホテルを使わず、国際会議場のみで開催できなかったのか？
- 18) 多くの聴講者が見込まれるセミナーなのに会場がせまかった。
- 19) 出入口が一箇所の会場は安全面、出入りの容易さの点で望ましくないとします。
- 20) 縦長の建物の場合、場所を探すのに時間がかかる
- 21) 大阪の会場は上下の移動が多くて不便でした。
- 22) 会場が何階にも及びエスカレーターが繋がっていない階も多く、毎回少ないエレベーターで移動しなくてはならず、非常に不便だった。部屋が狭いため、立ち見になる会場も少なくなく、不便だった。もっと横に広い会場にしてほしい。
- 23) 全体懇親会の会場が参加者に比較して狭かった。ビールが足りない。

- 24)メインホールの出入り口が不適切だったように思います。
- 25)ホテル客室の確保をお願いしたい。後輩が十分勉強できず残念。
- 26)学会バックが2日目になかった 引き換え券をつくり平等にすべき 高い学会費を払って遠方から参加しているのだから けちな印象を強くもった
- 27)会場間の移動の動線をできるだけスムーズにしてほしい。階段やエレベーターの混雑が。
- 28)会場の立地を考えていただきたい
- 29)とにかく会場の案内が不親切と思ったら。多分冊子がなければ目的の場所にたどり着けないであろう。ゴミ箱が全くないのも困った。
- 30)トイレや会場の案内がもう少し目に付くところにあるといい。
- 31)セッションによって、会場のキャパシティと参加人数のアンバランスを感じました。事前予測は難しいとは思いますが、参加人数が多く予想されるセッションを広い会場。そうでものを小さめの会場という工夫があってもいいかと思いました。
- 32)参加者が多く、広い会場を確保するのは大変だと思うが、上下の動きは少ない方が良いと思う。会場によっては立ち見が多かったり、人が多すぎて入れないところもあり、工夫して欲しい。
- 33)アプリの会場マップが見つらなかったのと、会場が何フロア(階層)にも分かっていると行き来がややこしいです。
- 34)動線
- 35)会場間の移動ルートが少なく、非常に混雑していたため、改善してほしい。
- 36)今回はホテルと会議場と2か所で運営されていて、会場が分かりにくかった。  
会場案内, 特にホテル内の移動。
- 37)ランチョンに行くのが、エスカレーターに乗れず、階段を上がったが、これまた大変だった
- 38)子連れで訪れやすいよう配慮してほしい
- 39)書籍販売が分散していて内容を把握しにくかった。
- 40)今回の会場は階の移動が多く、解しあ規模を考えれば仕方ありませんでしたが、できるだけ階の移動がないように配慮いただければと思います。
- 41)満席で入れないセッションがいくつかあったので、会場は広い方がよい。
- 42)ランチョンセミナーの列が会場から退室する参加者の導線に重なっていたことがあり、混乱していた。
- 43)国際会議場の上下階の移動に時間がかかる。セッション終了後エレベーターが混む。エスカレーターだと次のセッションに間に合わない。セッション間の時間を20分以上とっていただきたいかった。
- 44)ドリンクコーナー、カップが無かったり、頼もうにも人も居ないしそもそも案内もありません。ポスター会場とかは地元のアルコールと肴くらいあった方が口が軽くなって活発な討議が期待できる思うのですがどうでしょう
- 45)今回は椅子が少なく、また無料の水も冷えすぎて飲みづらかった。コップも小さいし、無駄なゴミが増えると感じました。患者会の人ブースの位置が悪い印象を受けました。隅すぎて患者に失礼な印象を受けます。
- 46)ポスター発表は最前列の数名にしか聞こえないので、発表形式は不要ではないか。
- 47)ポスター発表の発表時間と質疑応答の時間が守られていなかった。
- 48)ポスター会場の運営の仕方。
- 49)会場が狭かった
- 50)会場がバラバラでわかりにくかった(特に隣のホテル会場)
- 51)会場が狭いのが印象に残った
- 52)今回は例年に比べて会場が狭かったと思います。
- 53)動線がイマイチでした。
- 54)休憩スペースがあるのがいいが、少ない。
- 55)専門医セミナーの部屋は、机と電源がないと困ります

## 会場へのアクセス

- 1) 学会の内容はもちろんではあるが、会場の広さと会場へのアクセスは、参加者にとって極めて重要であり、この点に十二分に配慮した会場やプログラムを考えていただきたい。
- 2) 交通の便を重視する必要がある。
- 3) 飛行場などからのアクセスのよい場所を選択してほしい
- 4) 大阪駅でシャトルバス乗り場の場所に迷いました。案内掲示を欲しいです。
- 5) 会場の交通の便が悪い。シャトルバスの本数や大きさが足りず、待ち時間が生じてしまった。
- 6) 会場へのアクセスが悪く、かなり歩かなければ行けなかったり、リーガロイヤルホテル行きのバスを長蛇の列で待たなければならなかったり、不便だった。
- 7) 会場の立地を考えていただきたい
- 8) 会場行くのがやや不便。
- 9) 大阪駅のシャトルバスの乗り場がわかりにくかった。
- 10) 会場はもう少し使いやすいうところがよいと思います

## 休憩場所・フリースペース

- 1) 都会の学会場なのでやむを得ないですが、フリースペースが少なかったです。参加者の交流やちょっとした仕事・メールチェックなどが出来る場所があるとよいと思いました。
- 2) 休憩場所が少ない
- 3) 今回の会場は休憩用のデスクが少なかったと思います
- 4) 会場(部屋)のそばに休憩できる場所がほとんどなかったのは本当によくなかった。教育コースのテーマの中にはシンポジウムとしてもっと大勢に共有すべきものがあつた。
- 5) 休憩や資料確認などできる椅子や机を充実させてほしい
- 6) 休憩スペースが欲しいです
- 7) 休憩所が少ないと思われまます。
- 8) 休憩場所、リフレッシュメントが少なすぎた。階の移動が大変だった。
- 9) 講演で座れないことが多い 講演外で座って休む場所がほとんどない
- 10) ドリンクサービスが欲しい(今回コーヒーもなかった)
- 11)会場の休憩スペースが少なかつた。
- 12)休憩スペース(座れる場所)がもう少し多いともっと良かったです。
- 13)Small number of waiting or resting area
- 14)休憩スペースが狭かつたので、もう少し広くしてほしい。  
またポスター発表時はかなり騒がしくほとんど聞き取れませんでした。人数が多かつたからでしょうか。
- 15)休憩できる椅子や休憩できる場所の案内がもっと欲しい。
- 16)Venue for lunch.
- 17)会場のフロアプランがわかりにくかつた。食事をする場所が少なく不便でした。
- 18)会場内の移動が少し分かりづらかつたです
- 19)休憩の机のところに電源を用意してください。
- 20)だんだんと、休む場所が少なくなつた。
- 21)休憩スペースの確保、案内についてはもう少し情報が欲しいです
- 22)ドリンクサービスや休憩所が少なすぎる。

## ポスター会場

- 1)ポスターセッションはマイクがなくて全く聞えなかつた
- 2)ポスター発表は、ほとんど聞き取ることができなかつた。前にいる2, 3人で話している感じてあつた。また製薬メーカーのブースも呼び込み、アンケート記入など煩わしいものであつた。昨日答えてもまたアンケート記入を求められるなど。
- 3)ポスター会場に座れる場所が少ない
- 4)ポスター発表の声は全く聞こえなかつた。代議員大会は独立させて行つべき。
- 5)ポスター会場は発表の声が聞こえない
- 6)ポスター会場の改善(狭い、発表が聞こえない)
- 7)ポスター発表の時に声が聞きにくい点がありました。
- 8)ポスターセッションでの発表は、ほとんど聞き取れない。
- 9)ポスター会場が狭かつた
- 10)ポスター会場が狭く、行き来が困難でした。
- 11)ポスター会場がやや狭く、イブニングセミナーがもっとあつてもよい。
- 12)ポスターセッションの発表が聞き取りにくく、マイクやスピーカーがあると良い。
- 13)ポスターセッションはほとんど聞こえないので工夫が必要と思います。
- 14)The poster sessions were crowded. More space would be helpful
- 15)どうしてもポスターセッションでは発表者の声が聞き取りにくい。すぐそばに企業のブースがあり、雑談する声などの影響があつたように思う。
- 16)ポスター発表の時間帯が、日によってバラバラだが、統一した方が判りやすい。  
ポスター会場の演者の発表がマイクもなく、あたりもうるさく、本当に聞き取れなかつた。  
会場が縦に長すぎ、エレベータかエスカレータを利用せざるをえず、この混み具合がひどかつた。
- 17)ポスター発表の、発表者や座長の声が聞こえないので、改善を希望します。
- 18)ポスター発表は、最悪です。発表者の声も討論の声も殆ど聞こえないです。発表者・討論者はマイク~それ相応のデバイスを使うべきです。反響が起きないように、①よりスペースを取る、②何らかの工夫をする、などしないと、ポスター発表は、殆ど意味がないと思いますし、発表者がかわいそうです。
- 19)ポスター会場の振る舞い酒はもうないんですか。。。あと、企業ブース以外のコーヒーがすぐ無くなつたのが残念。ポスター発表中の会場が混雑しすぎて移動が大変だった。

## 口演会場

- 1) 朝のセッションでは平先生のご講演で音の出力が必要なのは分かっていたはずなのに講演の終わり頃まで音が出ず、対応として不十分と思いました。
- 2) シンポジウムや口演会場で満席のため着席できないことがありました。
- 3) 人数が多い会場では、スクリーンの数が多くてもいいと思いました。
- 4) 投影されるスライドの位置が高い会場が多い方が参加しやすいと思いました

## 事務・運営対応

- 1) 学会の内容は非常によかったのに学会運営会社の姿勢が残念過ぎます。hands-on 脳波の受付が2レーンに分かれているのに参加者の名簿は1部しかなく入場に大行列が出来たり、その割に会が始まると係の方が多すぎて話が始まってもずっと係の同士で話し込んでいたりしていました。聴講者のすぐ横なので迷惑です。
- 2) セミナーの券配布場所のブースがわかりにくかったこと。
- 3) 事前登録をしていましたが、バーコード読み取りに不備があって、手続きに時間がかかりました。不備があったときの対策が受付スタッフに周知されていなかったか、いろいろな場所へ連れて行かれて、結果時間がかかったのが残念でした。大会全体としてはプログラムなど、内容が濃くて満足できるものでした。
- 4) 1回で学会登録ができる会場を選んでほしい。
- 5) 会場を広くして希望する講演にすべて参加できるようにする。事前登録廃止。
- 6) 隣接のホテルが確保できず後輩口演演者が怒っていた。

## 教育企画について

- 1) 教育コースに聞きたいものが多々あった。事前登録をしておかなかったことが悪いのだが、そこまでプログラムを見ておくことができなかった。事前登録制はやめてもらいたい。
- 2) 教育コースの参加人数をふやしてほしい。できれば資料を頂きたい
- 3) 教育講演をききたかったが、事前申し込みで一杯で、整理券がなく、聞けなかった。席に余裕を持った運営をお願いしたい。
- 4) 教育コースをもっと多くの人が聞ける工夫が必要かと思えます。レクチャーマラソンと似てくるかもしれませんが。
- 5) また、教育コースは少人数、事前登録制でしたが、締め切りが1ヶ月以上前に設定してあったので最初から参加を見送らざるをえず、参加できずに残念でした。当日参加も可にする、人数制限を撤廃するなど柔軟に対応していただければよいと思います。
- 6) 教育コースは、内容は興味深いものが多かったですが、事前登録時に参加を確定させるの難しい(勤務予定も決まっていないし、子供の急病で欠席する可能性を考えると申し込みなかった)上に、当日券は7時台にほぼなくなってしまっていたので、非常に残念でした。また、7時半からのプログラムが結構あったので、託児も7時半からしていただけると助かります。
- 7) 事前予約の教育コースは病棟で直持ちしている医師には参加しづらいので、もう少し当日に参加できるよう夫をしていただくとなお良いと思います。
- 8) 教育コースの参加人数を増やせるとよい。締め切りも早すぎた印象
- 9) 教育レクチャーの会場で満員なら外でもテレビで見れるようにしてほしい
- 10) 教育セミナーは当日キャンセルが出てしまうと空席が目立ち、あとからは入れないのが残念なので10分たったらキャンセル待ちの券を持った人が入れるようにしたらいいか
- 11) 教育コースは事前申し込みで座席が余った場合、当日でも参加できるようにすると、参加するか直前にならないと決められない学生や研修医が参加しやすくなるのではと思います
- 12) 教育コースの事前申し込み、当日申し込みで満席となり、参加できない方がいらっやいましたが、当日(連絡なく)キャンセルされ出席されない方も多く、この点は改善の余地があると思われました。
- 13) 教育コースをより多くの参加者が参加できるようにしてほしい。
- 14) 教育コースの人数を増やす。
- 15) 各会場の広さ、教育講演の事前登録のキャンセルを柔軟に出来て、とキャンセル待ちを無駄なく入れるシステムアプリを、講演内容によっては少人数の必要はないのでは
- 16) 予約制で少人数の教育コースの定員をもっと増やすべき。年長者(定年後)の重鎮の座長で、時間配分がひどい先生がいた。定年後の会員を座長や演者に指名する際には一定の制限を設けるべき。
- 17) 教育コースに参加しやすくしてほしい
- 18) 教育コースの内容が良い事が当日分かってもらえない事がショックだった。
- 19) 実際に教育コースでは満員御礼なのに空席が続出していました。一方で夕の終了時刻には余裕がありました。再考を願いたいと思います。
- 20) 教育コースが事前登録制であることのアナウンスが不十分に感じた。特にアプリでプログラムを見ていると現状わからない。
- 21) 教育コースの対象人数が少なすぎて、入ることが出来なかった。少人数にする意味が理解できない

- 22)教育講演で面白そうな企画がありました。事前登録制で聞くことができませんでした。このような講演を聞くべき若い先生は、直前になるまでいつ学会に行けるか決まらないのが一般的だと思うので、この制度は検討してほしいです。学会の始まる数日前までアプリを使わずに、予定が立てにくかったです。
- 23)教育コースの受付方法については再考願いたい。当日受付が、当日になってなくなったこと。(プログラムには、10分後に、空いていたら、入れる旨の記載があったので、一縷の望みをかけて向かったのに、キャンセル待ちもできないと言われ、残念過ぎました)
- 24)教育コースの人数制限をもうけるならば、内容をWEB配信すべき。聴講したかったのに当日キャンセル待ちもできず誠に遺憾である。なんのための教育コースなのか、人気のありそうな講演内容は広い会場にするべきである。
- 25)教育コースは、もう少し部屋を大きくできないでしょうか？
- 26)教育コースをもう少し安く受講できるようにしてほしい。
- 27)スペシャリストの最先端のディスカッションも重要であるが、第一線の診療レベルを高めるための生涯教育的なセッションの充実がますます必要かと思えます
- 28)生涯教育と英語化は矛盾しやすいと思う。神経学会は国際化ではなく生涯教育に力を入れて欲しい。レジデントトーナメントとハンズオン／教育セミナーが被っていたため、後者を受講できなかった。
- 29)教育セッションで会場が分かりにくかったです。
- 30)「Hands-on」が同じ時間に集中しており、複数参加できないのが残念です。
- 31)教育コースのアンケート提出に時間がかかった。もう少し簡単に提出できるように改善していただきたい。
- 32)教育コース09について。  
内容は難しいものではなかったが、次にどの画像検査を選択するかについて、他院の医師がどう考えているかを知ることが出来て有意義であった。このように、医師や病院によって判断が異なる検査(または治療)について、少人数で議論することは非常に良いと感じた。自由に話し合える雰囲気が必要であり、本学術大会で最も楽しい企画であった。
- 33)生涯教育の開始時間を早め終了時間も早くしてほしい。遠方の場合 同日に帰宅出来ず参加できない。
- 34)生涯教育レクチャーのテーマが全くよくなかった。単なる自慢話を聞かされただけ。
- 35)教育講演を木曜日にも実施してもらえると開業医は助かります。
- 36)教育コースはもっと気軽に参加したかった。
- 37)参加費をコンビニ払いにしたら支払い後1週間手続きにばかり、希望する教育コースに申し込みませんでした。
- 38) 教育コースのテーマの中にはシンポジウムとしてもっと大勢に共有すべきものがあった。
- 39)事前登録でハンズオンを予約して支払いしましたが、その後予定がかわりハンズオンの曜日に参加できなくなり、返金もありませんでした。事前登録しづらくなり困ります。
- 40)参加費をコンビニ払いにしたら支払い後1週間手続きにばかり、希望する教育コースに申し込みませんでした。
- 41)教育コースをより多くの参加者が参加できるようにしてほしい。

## 国際化・英語セッションについて

### 受け入れ方

- 1) 外人重視せずに、日本人重視のプログラムが良い
- 2) トラベル grant を利用したと思われる海外からの参加者がポスター発表会場におられませんでした。私の参加したセッションだけでもないが海外からの参加者全員が非参加であり、うち1名はポスターすら添付しておらず腹立たしい思いをしました。発表に関して周知は徹底されていたのか疑問が残ります。
- 3) 日本語を母国語としない方を受け入れるにあたり、彼らへの配慮がさらにもよいのではないかと思います。具体的には、発表言語が日本語のセッションでもスライド・ポスターは原則としてすべて英語にすべきではないかと思います。また会場案内の英語表記の文字が小さ過ぎる印象を受けました。外国語対応可能な運営スタッフが容易に分かるように、たとえば名札に使用可能な言語が分かるような印(国旗など)をつけてもよいと思いました。
- 4) ポスターセッションで、海外からの演題で全く掲示がないものがあった。そのような演題にもトラベル grant が出されているのであろうか？しっかりチェックし、対応して頂きたい。
- 5) 海外からの一般演題の扱い(水準の低いものをどうするか、適切でないセッションへの配置(他に配置できなかったのであろうか))の改善

### 英語セッションに対して

- 1) 英語が多くて分かりづらい
- 2) 一部の英語セッションで、audience が少ない印象を受けた。やむを得ないのかもしれないが、全体に質疑の数が少なく、座長が質問したり、同じ人ばかりがマイクに立っている傾向があった。
- 3) 英語のセッションが多い。せつかくの発表や討論の情報伝達が不十分な場面が多かった。

英語セッションはやや形骸化の傾向がある。国際化に向けて必要なことは承知しているが深い議論ができないジレンマもある。発表は英語、コメンテーターを配置、日本語の質疑応答も最後に可能としてはだめか。

- 4) 英語のセッションの参加者が少ないと思います
- 5) 英語が多すぎる
- 6) 英語の発表で理解困難なものが多々あった。
- 7) 日本人の英語がひどい。そのため Discussion まで十分になされない。英語のセッションといえど、おかしければ日本語でしゃべって、座長が通訳するということもある程度許容しないと、肝心の Science がおろそかで、茶番になると思います。
- 8) 国際化は重要だが、英語セッションの議論が乏しい点、学会員に本当に有用な学術大会となっているか？は反省すべき。
- 9) 生涯教育と英語化は矛盾しやすいと思う。神経学会は国際化ではなく生涯教育に力を入れて欲しい。
- 10) 英語セッションの座長はもう少し英語力が欲しい。
- 11) 同時通訳のシステムが、あれば有難い。
- 12) 英語でのシンポジウム、ポスター発表のみの参加です。英語でやると海外の人を呼びやすいという利点があります。一方で日本人にはやはりわかりにくいです。日本でやるのですから知識の向上のためには日本語でレジメを確認できるなど何かしらの対応があった方が良くと思いました。
- 13) 英語のセッションで十分に議論を深められる程度の英語力のある人がどのくらいいるだろうか。目標は高いが、学会離れを作らないか？大事なことを日本語で議論できる、聴衆にも伝わる学会である方がいい。
- 14) 日本人しかいない英語セッションで英語で議論にならないセッションは本当に無駄だと思う。特に英語の一般演題などは酷すぎて見ていられなかった。発表者だけではなくコメンテーターにやる気が感じられず、会場を盛りあげたり演者をサポートする気がないように思えた。こんなクオリティならば英語のセッションをもっと減らすべきだと思った。

## その他

- 1) また、アプリは有用で今後とも続けて頂きたいのですが、公開が会期のかなり直前であり、準備に活かせないできませんでした。より早期からの公開を期待しています。
- 2) This year until 2021, the date of JSN will be at Ramadhan fasting month for moslems. I hope the committee may modify the lunch to fasting break for moslem participate (around 7pm) and should contain only halal product (local moslem community or mosque may help directing this).
- 3) As described above. The other is that the session on day 2 was a little bit late, but that's alright.
- 4) 参加費が高い、どこにそんなにお金がかかっているのか疑問
- 5) 学会主催の Dinner に呼ばれた人物の選考規定が不明
- 6) 総花的で、全体の integration がわかりにくい。海外の主要な学会のように、日本神経学会として特に重要なものを crystalize した presidential symposium があれば、大きな動向がわかりやすい
- 7) プログラムに魅力がなく、つまらなかった。
- 8) お金を使い過ぎではないですか。昔の質素な学会が懐かしいです。
- 9) 短期の参加でわかりかねます、すみません
- 10) 学術発表に特化して、全体に質素にして下さい。
- 11) 事前予約が多すぎる
- 12) 事前予約が多すぎて、予約が取れない

## IX. 総括

アンケートを振り返ると、全体的に第 60 回学術大会の開催内容は支持されていると考える。会期についても現行の土曜日を含む 4 日間での開催が適切と判断するが、今後、開業医、一般病院勤務医の参加が増加してきた場合、日曜日開催は検討すべき課題となるかもしれない。国際化については、現在の英語化比率や海外演者グラントなどは概ね支持されていた。ただし、内容については、十分な英語ディスカッションができていないことに対して、国際化に肯定的な意見を持つ人からも、また、否定的な意見を持つ人からも問題点として挙げられており、単なる英語セッションの比率を増やすということだけではなく、質向上の対策を必要であると思われる。プログラムについては、概ね支持されていたものの、教育企画については、様々な意見が挙がった。教育コースそのものは肯定的な意見が大半であるが、事前登録のあり方など運営の方法については今後も継続した議論が必要である。医学生・研修医セッションについても肯定的な意見が多かった。医学生トラベルグラントを含めて今後も継続することが望まれる。研修制度・専門医制度改革の中で、若手会員の獲得のためには、医学生・研修医への教育的な視点が必要であることが会員全体にコンセンサスを得られているものと考えられる。さらに今回は、メディカルスタッフからの肯定的

な意見もみられた。多職種連携の観点からもメディカルスタッフセッションについても現行の方式を継続・発展させることが望まれる。施設面に関しては、ポスター会場の環境に関する不満、また、休憩場所、フリースペース確保の要望が多かった。ポスター会場は最も多くの参加者が集う場所でもあり、その環境整備は学会運営の上で重要である。同様の指摘は、57回、59回大会でもなされており、今後の会場設営にはポスター会場の環境に留意する必要があると思われた。市民公開講座については、多くの市民参加頂き、成功裡に執り行うことができた。59回大会では、一般市民への広報手段として北海道新聞の有効性が指摘されていたが、今回もアンケート調査からは、新聞広告・記事の有用性が示唆された。広告経費の問題はあるものの、今後とも検討すべきと考える。

以上

文責 第60回日本神経学会学術大会大会長校（近畿大学脳神経内科）事務局

